

GARMIN[®]

dēzlCam[™]



マニュアル

© 2015 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin®、および Garmin ロゴは、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

dēzlCam™、ecoRoute™、Garmin eLog™、Garmin Express™、Garmin Real Vision™、myGarmin™、myTrends™、trafficTrends™、nüMaps Guarantee™、および nüMaps Lifetime™ は、Garmin Ltd.とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、Garmin はライセンスに基づきこのワードマークまたはロゴを使用しています。Foursquare® は、Foursquare Labs, Inc.の米国およびその他の国における商標です。microSD™および microSDHC ロゴは SD-3C, LLC.の商標です。Windows®、Windows Vista®、および Windows XP®は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Mac®は米国およびその他の国における Apple Inc.の商標です。TruckDown® は TruckDown Info International, Inc.の商標です。HD Radio™ および HD ロゴは、iBiquity Digital Corporation の商標です。HD Radio 技術は、iBiquity Digital Corporation からのライセンスに基づき開発されています。米国および外国特許。その他の商標および商標名はそれぞれの所有者の所有物です。

目次

はじめに	1
ダッシュカメラのメモリカードを挿入する.....	1
車両への dēzlCam デバイスの取り付けと電源の供給.....	1
GPS 信号を捕捉する.....	1
ステータスバーアイコン.....	1
オンスクリーンボタンを使用する.....	2
スリープモードへの移行および終了.....	2
デバイスの電源をオフにする.....	2
音量を調整する.....	2
自動音量を有効化する.....	2
画面の輝度を調整する.....	2
ダッシュカメラ	2
カメラの位置を合わせる.....	2
ダッシュカメラによる録画.....	2
ビデオ録画を保存する.....	2
写真を撮影する.....	2
ダッシュカメラによる録画を開始 / 停止する.....	2
カメラキーに関するヒント.....	3
ビデオや写真を表示する.....	3
コンピュータでのビデオや写真.....	3
オーディオの録音をオンまたはオフにする.....	3
ビデオまたは写真を削除する.....	3
車両プロフィール	3
車両プロフィールを追加する.....	3
車両プロフィールの有効化.....	3
トレーラー情報を変更する.....	3
車両プロフィールを編集する.....	3
目的地へのナビゲーション	3
ルート.....	3
ナビゲーションを開始する.....	4
帰宅する.....	4
地図上のルート.....	4
アクティブ車線案内.....	4
方向転換地点のリストを表示する.....	4
地図にルート全体を表示する.....	4
ルートに場所を追加する.....	4
ルートを形成する.....	4
迂回路を検索する.....	5
ナビゲーションを停止する.....	5
ルート探索方法を変更する.....	5
地図を使用してナビゲーションを開始する.....	5
複数のルートをプレビューする.....	5
トリッププランナー.....	5
トリップを計画する.....	5
保存されているトリップをナビゲーションする.....	5
トリップの経由地の順序を最適化する.....	5
トリップの場所を編集および並べ替える.....	5
アクティブルートを編集および保存する.....	5
トリップのルーティングのオプションを変更する.....	5
トリップのスケジュールを設定する.....	6
推奨ルートを利用する.....	6
遅延、有料道路、およびエリアを回避する.....	6
ルート上の交通遅延を回避する.....	6
有料道路を回避する.....	6
有料ステッカーを回避する.....	6
道路の回避機能.....	6
環境ゾーンを回避する.....	6
カスタム回避.....	6
直行ルートをナビゲーションする.....	7
位置を検索する	7
検索バーを使用して位置を検索する.....	7
検索エリアを変更する.....	7
ジャンル別施設.....	7

カテゴリを入力して位置を検索する.....	7
カテゴリ内を検索する.....	7
場所内のジャンル別施設にナビゲーションする.....	7
トラックのジャンル別施設を検索する.....	8
TruckDown ジャンル別施設 (POI) を検索する.....	8
Foursquare®.....	8
検索ツール.....	8
住所を検索する.....	8
交差点を検索する.....	8
都市を検索する.....	8
座標を使用して位置を検索する.....	8
最近検索した目的地を検索する.....	8
最近検索した場所のリストを消去する.....	8
最後に駐車した場所を検索する.....	8
現在地情報を表示する.....	8
緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する.....	8
現在地への道順を表示する.....	9
ショートカットを追加する.....	9
ショートカットを削除する.....	9
位置を保存する.....	9
位置を保存する.....	9
現在地を保存する.....	9
自宅を保存する.....	9
保存した位置を編集する.....	9
保存した位置にカテゴリを割り当てる.....	9
保存した位置を削除する.....	9
地図を使用する	9
地図ツール.....	9
地図ツールを表示する.....	10
地図ツールを有効にする.....	10
この先.....	10
この先のジャンル別施設を検索する.....	10
[この先] カテゴリをカスタマイズする.....	10
トリップ情報.....	10
地図からトリップデータを表示する.....	10
トリップ情報ページを表示する.....	10
軌跡ログを表示する.....	10
トリップ情報をリセットする.....	10
進行方向の交通事故を表示する.....	10
地図上に交通渋滞情報を表示する.....	10
交通事故情報を検索する.....	10
トラック地図を表示する.....	10
警告およびアラート記号.....	10
制約に関する警告.....	11
道路状況に関する警告.....	11
アラート.....	11
スピードカメラ.....	11
地図をカスタマイズする.....	11
地図レイヤーをカスタマイズする.....	11
地図データフィールドを変更する.....	11
地図表示方法を変更する.....	11
トラフィック	11
トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する.....	11
Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する.....	12
渋滞情報受信機.....	12
トラフィックレシーバーを配置する.....	12
トラフィック購読について.....	12
購読の確認.....	12
トラフィックサブスクリプションを表示する.....	12
サブスクリプションを追加する.....	12
トラフィックを有効にする.....	12
音声コマンド	12
ウェイクアップフレーズを設定する.....	12

音声コマンドを有効化する	12	ecoRoute 情報をリセットする	18
音声コマンドのヒント	12	運転のヒント	18
音声コマンドを使用してナビゲーションを開始する	12	myGarmin メッセージを表示する	18
ミュートの手順	13	天気予報を表示する	18
音声制御	13	別の都市周辺の天気を表示する	18
音声制御の設定	13	気象観測レーダーを表示する	19
音声制御の使用	13	気象警報を表示する	19
音声制御のヒント	13	道路状況を確認する	19
車両およびドライバーツール	13	前のルートと目的地を表示する	19
Garmin eLog	13	デバイスをカスタマイズする	19
dēzl™デバイスで Garmin eLog の機能をセットアップする	13	地図および車両設定	19
Garmin eLog の情報を dēzl デバイスに表示する	13	地図を有効にする	19
Garmin eLog の診断イベントや故障イベントを表示する	13	ナビゲーション設定	19
IFTA	13	計算モードの設定	19
燃費データを入力する	13	シミュレートされた場所を設定する	19
燃費データを編集する	14	カメラ設定	19
管轄機関の概要を表示およびエクスポートする	14	Bluetooth 設定	20
トリップレポートを編集およびエクスポートする	14	Bluetooth を無効にする	20
エクスポートされた管轄機関の概要およびトリップレポートを表示する	14	ディスプレイ設定	20
サービス時間について	14	トラフィック設定	20
業務ステータスを記録する	14	単位および時間設定	20
ドライバーについて	14	時間を設定する	20
運転者ジャーナルを表示および編集する	14	言語およびキーボード設定	20
出荷を追加する	15	近接アラート設定	20
運転者ジャーナルをエクスポートする	15	デバイスおよびプライバシー設定	20
サービス履歴をログに記録する	15	設定を初期化する	20
サービスカテゴリを追加する	15	デバイス情報	20
サービスカテゴリを削除する	15	デバイスのお手入れ	20
サービスカテゴリの名前を変更する	15	外側ケースのクリーニング	20
サービスの記録を削除する	15	タッチスクリーンのクリーニング	20
サービスの記録を編集する	15	盗難防止	21
ハンズフリー機能	15	デバイスをリセットする	21
Bluetooth 無線技術を有効にする	15	仕様	21
ワイヤレスヘッドセットについて	16	付録	21
ワイヤレスヘッドセットをペアリングする	16	サポートおよび更新	21
ハンズフリー通話について	16	Garmin Express を設定する	21
電話をペアリングする	16	Garmin Express による地図とソフトウェアの更新	21
電話をかける	16	データ管理	21
電話を受ける	16	メモリーカードについて	21
通話履歴を使用する	16	地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する	21
通話中オプションを使用する	16	デバイスをコンピュータに接続する	22
自宅の電話番号を保存する	16	コンピュータからデータを転送する	22
追加 Bluetooth デバイスのペアリング	16	GPS 信号ステータスを表示する	22
Bluetooth デバイスの取り外し	16	電源ケーブル	22
ペアリングした Bluetooth デバイスを削除する	17	デバイスを充電する	22
アプリケーションを使用する	17	車両電源ケーブルのヒューズを交換する	22
ヘルプを使用する	17	デバイス、マウント、吸着カップを取り外す	22
ヘルプトピックを検索する	17	マウントからデバイスを取り外す	22
Smartphone Link	17	吸着カップからマウントを取り外す	22
Smartphone Link をダウンロードする	17	フロントガラスから吸着カップを取り外す	22
Smartphone Link に接続する	17	追加の地図を購入する	22
電話からデバイスに位置を送信する	17	アクセサリを購入する	22
Smartphone Link に接続している間は通話を無効にする	17	トラブルシューティング	22
Garmin ライブサービス	17	吸盤がフロントガラスに取り付けられない	22
Garmin ライブサービスに申し込む	17	デバイスで衛星信号を受信できない	23
トラフィックカメラについて	17	デバイスを車両で充電できない	23
ecoRoute について	17	充電しても電池の電力が長持ちしない	23
車両を設定する	18	使用しているデバイスが、コンピュータのリムーバブルデバイスとして表示されません	23
燃料価格を変更する	18	使用しているデバイスが、コンピュータのポータブルデバイスとして表示されません	23
燃費を校正する	18	使用しているデバイスは、コンピュータのポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、ボリュームのいずれとしても表示されません	23
ecoChallenge について	18	電話がデバイスに接続されません	23
燃費情報を表示する	18		
燃費レポート	18		

はじめに

警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全および製品に関する警告と注意事項』ガイドを参照してください。

- メモリカードを挿入します (ダッシュカメラのメモリカードを挿入する, 1 ページ)。
- デバイスの地図とソフトウェアを更新します (Garmin Express による地図とソフトウェアの更新, 21 ページ)。
- 車両にデバイスを取り付け、電源に接続します (車両への dēziCam デバイスの取り付けと電源の供給, 1 ページ)。
- ダッシュカメラの位置を合わせます (カメラの位置を合わせる, 2 ページ)。
- GPS 信号を捕捉します (GPS 信号を捕捉する, 1 ページ)。
- 音量を調整し (音量を調整する, 2 ページ)、ディスプレイの輝度を調整します (画面の輝度を調整する, 2 ページ)。
- トラックの車両プロファイルを設定します。
- 目的地までナビゲーションします (ナビゲーションを開始する, 4 ページ)。

ダッシュカメラのメモリカードを挿入する

デバイスで内蔵のダッシュカメラからビデオを録画する前に、メモリカードを挿入する必要があります。カメラには、最大 64GB、速度レーティングクラス 4 以上の microSD™ または microSDHC メモリカードが必要です。付属のメモリカードを使用するか、家電販売店から互換性のあるメモリカードを購入して使用することができます。

- カメラのメモリカードスロット②に、メモリカード①を挿入します。

注：間違っただけのメモリカードを挿入すると、カメラでビデオを録画できません。



- カチッと音がするまで押し込んでください。

車両への dēziCam デバイスの取り付けと電源の供給

警告

この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるため、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

デバイスとマウントの両方に磁石が取り付けられています。特定の状況下で、磁石はペースメーカーやインシュリンポンプなど、体内医療機器と干渉する可能性があります。デバイスやマウントはこれらの医療機器に近づけないでください。

注記

デバイスとマウントの両方に磁石が取り付けられています。特定の状況下で、磁石はラップトップコンピュータのハードドライブなど、一部の電子デバイスに損傷を与える可能性があります。デバイスやマウントが電子デバイスの近くにある場合は、十分注意してください。

デバイスをバッテリーで使用する前に、バッテリーを充電する必要があります。

- マウント①を吸盤②にはまるまで押し込みます。



- レバー③を開き、吸盤をフロントガラスに押し付けてレバーをフロントガラスの方向に戻します。

レバーはフロントガラスの上部に向いている必要があります。




- 吸盤アーム④を展開します。
- 必要に応じて、Garmin® ロゴが右上になるようにマウントを回転させます。
- 車両電源ケーブル⑤をマウントのポートに接続します。



- デバイスの後部をマウントに載せます。
- 車両の電源ケーブルの反対側の端を、車両の電源コンセントに接続します。




GPS 信号を捕捉する

デバイスでナビゲーションを実行するには、衛星を捕捉する必要があります。ステータスバーの  は衛星信号の強度を表しています。衛星の捕捉には数分かかる場合があります。

- デバイスの電源をオンにします。
- デバイスが衛星の位置を受信するまで待ちます。
- 必要に応じて、高層ビルや樹木から離れた、上空の開けた場所に移動します。

ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの一番上に配置されています。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報を表示します。アイコンを選択すると、設定変更や詳細情報の表示ができます。

	GPS 信号ステータス
	Bluetooth® 技術ステータス (Bluetooth が有効である場合に表示される)
	車両プロファイルインジケータ

HOS	サービス時間のステータスショートカット
	Garmin eLog™ステータス。選択して現在のELD情報を表示します。アイコンが青の場合、デバイスはGarmin eLogアプリケーションに接続されています。
9:10	現在の時刻
	電池の状態
	Smartphone Linkに接続済み
53℃	温度
	未読 myGarmin™メッセージ
	ダッシュカメラの録画ステータス

オンスクリーンボタンを使用する

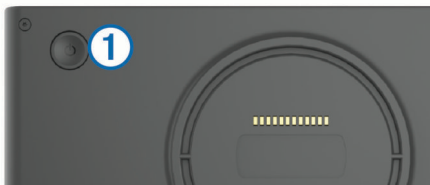
- を選択すると、前のメニュー画面に戻ります。
- を押し続けるとすばやくメインメニューに戻ることができます。
- ↑または↓を選択すると、選択項目がさらに表示されます。
- ↑または↓を押し続けるとスクロール速度が速くなります。
- ☰を選択すると、現在の画面のオプションのメニューが表示されます。

スリープモードへの移行および終了

スリープモードを使用すると、デバイスを使用していないときにバッテリー消費を節約することができます。スリープモードではデバイスは少量の電力しか使用しません。スリープモードから瞬時に復帰させて使用できます。

ヒント：バッテリーを充電している間にデバイスをスリープモードにすることにより、デバイスの充電時間を短縮できます。

電源キー①を押し続けます。



デバイスの電源をオフにする

1 画面上にメッセージが表示されるまで電源キーを押し続けます。

メッセージは5秒後に表示されます。メッセージが表示される前に電源キーを離すと、デバイスはスリープモードに移行します。

2 オフを選択します。

音量を調整する

1 音量を選択します。

2 次のの中からオプションを選択します。

- スライダバーを使用して、音量を調整します。
- デバイスをミュート（消音）にするには、を選択します。
- 追加オプションを表示するには、を選択します。

自動音量を有効化する

デバイスは、周囲のノイズレベルに基づいて、音量を自動的に上げたり下げたりすることができます。

1 音量 > を選択します。

2 自動音量を選択します。

画面の輝度を調整する

1 設定 > 表示 > 輝度の順に選択します。

2 スライダバーを使用して、輝度を調整します。

ダッシュカメラ

カメラの位置を合わせる

警告

運転中にカメラの位置合わせを行わないでください。

ダッシュカメラを取り付けたり配置を変更するたびに、その位置合わせを行う必要があります。

1 設定 > カメラ > ☰ > 整列の順に選択します。

2 デバイスを傾け、カメラを回転させてカメラの位置合わせを行います。

十字線がまっすぐに向いて、水平線が画面の上下の中央にある必要があります。

ダッシュカメラによる録画

注記

法律上の制限

一部の法域では、本製品を使用して人物および車両の写真またはビデオを撮影して公開することは、プライバシー権の侵害とみなされる可能性があります。本製品をお使いの地域で適用される法律およびプライバシー権を認識し、それに従う責任はお客にあります。

内蔵のダッシュカメラを使用してビデオを録画する前に、メモリカードを挿入する必要があります（[ダッシュカメラのメモリカードを挿入する](#), 1 ページ）。

デフォルトでは、デバイスをオンにすると、すぐにビデオ録画が始まります。オフにするまでは、最も古い未保存のビデオが上書きされて録画が続行されます。録画中は、LED が赤く点灯した状態になります。

デバイスをオフにするか、ビデオ録画を無効にするまで録画が続行されます。

ビデオ録画を保存する

デフォルトでは、デバイスはセンサを使用して可能性のある衝突事故を検出し、検出対象となるイベントの前、イベントの最中、イベントの後のビデオ映像を保存します。

ビデオはいつでも手動で保存することもできます。

1 録画中に、カメラキー①を選択します。



キーを選択する前、選択中、および選択した後の写真とビデオ映像が保存されます。ビデオ映像の保存中は、LED が赤色で点滅します。

2 保存される録画時間を延ばすには、カメラキーをもう一度選択します（オプション）。

メッセージにより、保存されるビデオ映像の量が示されます。

メモリカードの記録容量には限りがあります。ビデオ録画を長期保存するには、録画後にコンピュータやその他の外部記憶装置に転送する必要があります（[コンピュータでのビデオや写真](#), 3 ページ）。

写真を撮影する

このデバイスを使って写真を撮影することもできます。デフォルトでは、写真とともに時刻と位置情報が保存されます。

アプリケーション > ダッシュカメラ > の順に選択します。

写真が撮影されてメモリカードに保存されます。

ダッシュカメラによる録画を開始 / 停止する

1 アプリケーション > ダッシュカメラの順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 録画を停止するには、**■**を選択します。
録画が停止しているときは、LED が緑色に点灯した状態になります。
ヒント：デフォルトでは、デバイスを次回オンにすると、録画は自動的に開始されます。このオプションはカメラ設定で無効にすることができます(カメラ設定, 19 ページ)。
- 録画を開始するには、**●**を選択します。
ダッシュカメラで録画しているときは、LED が赤色に点灯した状態になります。

カメラキーに関するヒント

カメラキーを使用すると、いくつかのダッシュカメラ機能にすばやくアクセスできます。

- カメラキーを選択して、ビデオ録画を保存したり写真を撮影できます。
- ビデオ録画の保存中に、カメラキーを選択して、保存される録画時間を延長できます。
- ビデオの録画中に、カメラキーを数秒間保持して、録画を停止できます。
- 録画の停止中に、カメラキーを選択して録画を開始できます。

ビデオや写真を表示する

注：ビデオや写真の再生中は、ビデオの録画が停止されます。

- 77 リアクション > 再生メニュー > はいの順に選択します。
- ビデオまたは写真を選択します。

デバイスにビデオまたは写真が表示されます。ビデオの再生は自動的に始まります。ビデオまたは写真に位置情報が含まれる場合は、地図にその位置が表示されます。

コンピュータでのビデオや写真

Garmin Dash Cam Player アプリケーションを使用すると、録画されたビデオをコンピュータで表示、保存、および編集できます。また、ビデオに記録された時刻、日付、位置、速度の情報を表示したりオーバーレイ表示することもできます。詳細については、www.garmin.com/dashcamplayer を参照してください。

オーディオの録音をオンまたはオフにする

このデバイスでは、ビデオの録画中に内蔵のマイクを使用してオーディオを録音できます。オーディオの録音はいつでもオンまたはオフにすることができます。

設定 > カメラ > 音声録音設定を選択します。

ビデオまたは写真を削除する

- 77 リアクション > 再生メニュー > はいの順に選択します。
- ビデオまたは写真を選択します。
- ✕** > はいを選択します。

車両プロフィール

⚠ 警告

車両のプロファイル特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

ルート探索およびナビゲーションは、車両プロフィールに基づいて計算されます。有効化された車両プロフィールは、ステータスバーのアイコンで示されます。デバイスのナビゲーション設定と地図設定は、車両タイプごとに個別にカスタマイズできます。

トラックの車両プロフィールを有効化するとき、デバイスは、寸法、重量、および車両に関して入力したその他の特性に基づいて、

ルート内の制限区域や通行不能な区域を含めないようにします。

車両プロフィールを追加する

車両プロフィールは、dēzlCam デバイスを使用する各トラックに追加する必要があります。

- 設定 > 車両プロフィール > **+**を選択します。
 - 次の中からオプションを選択します。
 - 常時接続された貨物領域があるストレートトラックを追加するには、**ストレートトラック**を選択します。
 - トラクターまたはトラクターとトレーラーの組み合わせを追加するには、**トラクター**を選択します。
 - 画面上の指示に従って、車両特性を入力します。
- 車両プロフィールを追加した後、プロフィールを編集して、車両識別番号、トレーラー番号など追加の詳細情報を入力できます。

車両プロフィールの有効化

車両プロフィールを有効化する前に、プロフィールを追加する必要があります。

- 設定 > 車両プロフィールを選択します。
- 車両プロフィールを選択します。
測定値や重量とともに車両プロフィール情報が表示されます。
- 選択**を選択します。

トレーラー情報を変更する

トレーラー情報を変更する前に、トラクターの車両プロフィールを入力する必要があります。

トラクターでトレーラーを変更すると、トラクター情報を変更せずに車両プロフィールのトレーラー情報を変更できます。頻繁に使用するトレーラーをすばやく切り替えられます。

- 設定 > 車両プロフィールの順に選択します。
- トレーラーと使用するトラクターの車両プロフィールを選択します。
- 🔗**を選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 最近のトレーラー構成を使用するには、リストからトレーラー構成を選択します。
 - 新しいトレーラー構成を入力するには、**新しい構成**を選択し、トレーラー情報を入力します。

車両プロフィールを編集する

車両プロフィールを編集して、トラック情報を変更、または新しい車両プロフィールに、車両識別番号、トレーラー番号、またはオドメーターの測定値などの詳細情報を追加することができます。車両プロフィールの名前を変更したり削除したりすることもできます。

- 設定 > 車両プロフィールを選択します。
- 編集する車両プロフィールを選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 車両プロフィール情報を編集するには、**✎**を選択し、編集するフィールドを選択します。
 - 車両プロフィールの名前を変更するには、**✎ > 車両プロフィール名の変更**を選択します。
 - 車両プロフィールを削除するには、**✎ > 削除**を選択します。

目的地へのナビゲーション

ルート

ルートとは、現在地から目的地までの経路です。ルートには、目的地までの途中で複数の場所、または経由地を含めることがで

きます (ルートに場所を追加する, 4 ページ)。デバイスは、ルート計算モード (ルート探索方法を変更する, 5 ページ) および回避 (遅延、有料道路、およびエリアを回避する, 6 ページ) などのナビゲーション設定で選択した環境設定に基づいて、目的地までのルートを計算します。デバイスは、アクティブな車両プロファイルに適していない道路も回避します。

ナビゲーションを開始する

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 検索の入力を選択して検索語を入力し、Q を選択します (検索バーを使用して位置を検索する, 7 ページ)。
ヒント: カテゴリー、検索ツール、またはその他の方法でも場所を検索できます (位置を検索する, 7 ページ)。
- 3 位置を選択します。
- 4 出発を選択します。

デバイスは場所までのルートを計算し、音声案内と地図上の情報によりルートを案内します (地図上のルート, 4 ページ)。

追加の場所で停止する必要がある場合、ルートに場所を追加できます (ルートに場所を追加する, 4 ページ)。ルートを形成してコースを調整することもできます (ルートを形成する, 4 ページ)。

帰宅する

目的地検索 > 自宅への順に選択します。

自宅の場所に関する情報を編集する

- 1 目的地検索 > 保存済み > 自宅の順に選択します。
- 2 ①を選択します。
- 3 ≡ > 編集の順に選択します。
- 4 変更内容を入力します。
- 5 OKを選択します。

地図上のルート

注記

制限速度機能は情報提供を行っているだけであり、すべての速度制限標識を守り、安全な運転の判断を行う責任はいかなる場合でも運転者にあります。Garmin は、適用されるすべての交通法規および標識に違反したことにより受ける罰金または出頭命令については一切責任を負いません。

走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルートを案内します。



方向転換地点や出口、またはその他のアクションに関する指示は、地図の一番上に表示されます。記号①は、アクションのタイプおよび走行車線を示します (利用可能な場合)。デバイスは、次のアクションまでの距離②およびそのアクションと関連付けられているストリートまたは出口の名前③を表示します。

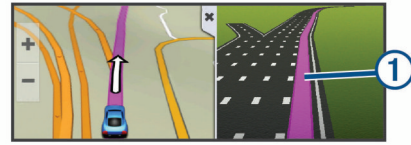
色付きの線④は、地図上にルートのコースを強調表示します。地図上の矢印⑤は、次の方向転換地点を示します。目的地に近づくと、チェックマーク⑥で目的地が表示されます。

車両速度⑦、走行中の道路⑧、および推定到着時刻⑨が地図の一番下に表示されます。到着時刻データフィールドをカスタマイズして、その他の情報を表示できます (地図データフィールドを変更する, 11 ページ)。

速度制限を表示するデータフィールドは、主要な道路を走行する際に表示されることがあります。この機能を利用できない地域もあります。

アクティブ車線案内

ルートをナビゲーションしているときに転換地点に近づくと、道路の詳細なシミュレーションがある場合は地図の横に表示されます。色付きの線①は方向転換に適した車線を示します。



方向転換地点のリストを表示する

ルートをナビゲーション中に、ルート全体のすべての方向転換地点と分岐点、および方向転換地点間の距離を表示できます。

- 1 ルートのナビゲーションの実行中に、地図上部のテキストバーを選択します。
- 2 方向転換地点を選択します。
方向転換地点の詳細が表示されます。利用可能な場合は、主要な分岐点を画像で表示できます。

地図にルート全体を表示する

- 1 ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。
- 2 ②を選択します。

ルートに場所を追加する

ルートに場所を追加する前に、ナビゲーションを実行している必要があります (ナビゲーションを開始する, 4 ページ)。

目的地に向かう途中に別の場所までナビゲーションすることができます。たとえば、ルートの次の経由地としてガソリンスタンドを追加できます。ルートの最後にも場所を追加できます。

ヒント: 複数の場所またはスケジュールされた経由地がある複雑なルートを作成するには、トリッププランナーを使用して、ルートの計画、編集、および保存ができます (トリップを計画する, 5 ページ)。

- 1 地図から、② > 目的地検索を選択します。
- 2 位置を検索します (位置を検索する, 7 ページ)。
- 3 位置を選択します。
- 4 出発を選択します。
- 5 次のの中からオプションを選択します。
 - ルートの次の経由地として場所を追加するには、次の経由地を追加を選択します。
 - ルートの最後に場所を追加するには、最後の経由地を追加を選択します。
 - 場所を追加して、ルートでの場所の順序を調整するには、アクティブルートに追加を選択します。


デバイスは、追加された場所を含めるためにルートを再計算し、順番に場所までのルートを案内します。

ルートを形成する

ルートを形成する前に、ルートを開始する必要があります (ナビゲーションを開始する, 4 ページ)。

手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに経由地や目的地を追加せずに、特定の道路を使用するようにルートの方向を選択することや特定の地域を通過することができます。


- 1 地図上の任意の場所を選択します。
- 2 ②を選択します。
デバイスがルートシェイピングモードになります。
- 3 地図上で位置を選択します。
ヒント: + を選択して、地図上でズームインし、より正確な場所を選択することもできます。
デバイスは、選択された場所を通過するようにルートを再計算します。

- 必要に応じて、オプションを選択します。
 - ルートにさらにシェイピングポイントを追加するには、地図上で追加の場所を選択します。
 - シェイピングポイントを削除するには、を選択します。
- ルートの形成が完了したら、**出発**を選択します。

迂回路を検索する

迂回できるようにするには、ルートをナビゲーションし、[地図ツール]メニューにルートの変更ツールを追加する必要があります(地図ツールを有効にする, 10 ページ)。

ルート上の指定した距離の迂回路または特定の道路周辺の迂回路を検索できます。これは、工事ゾーン、道路閉鎖、または走行が難しい道路条件が発生したときに役立ちます。

- 地図で  > **ルートの変更** を選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 距離を指定して迂回するには、**距離で迂回** を選択します。
 - ルート上の特定の道路を迂回するには、**道路別迂回路** を選択します。

ナビゲーションを停止する


地図で、 > **停止** を選択します。

ルート探索方法を変更する

- 設定 > ナビゲーション > 計算モード** の順に選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 時間優先** を選択すると、一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。
 - 直行** を選択すると、道路状況にかかわらず、ポイント間のルートを計算します。
 - 燃料優先** を選択すると、燃費効率の良いルートを計算します。
注: この機能は車両プロファイルを使用しているときのみ利用できます。
 - 距離優先** を選択すると、走行距離が短くなるようにルートを計算しますが、走行時間は長くなることがあります。

地図を使用してナビゲーションを開始する

地図から場所を選択してナビゲーションを開始できます。

- 地図表示** を選択します。
- 地図をドラッグおよび拡大 / 縮小して、検索する範囲を表示します。
- 必要な場合は、**Q** を選択して、表示されたジャンル別施設をカテゴリ別にフィルタリングします。
地図上に位置マーカー ( または青いドット) が表示されます。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 位置マーカーを選択します。
 - ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。
- 出発** を選択します。

複数のルートをプレビューする

- 位置を検索します (**カテゴリを入力して位置を検索する**, 7 ページ)。
- 検索結果から、位置を選択します。
- ルートを選択します。
- ルートを選択します。

トリッププランナー


トリッププランナーを使用し、トリップを作成して保存し、あとで操作することができます。配達ルート、休暇、またはドライブの計画に便利です。保存したトリップを編集して、場所の並

べ替え、経由地の順序の最適化、スケジュール情報の追加、およびシェイピングポイントの追加など、さらにカスタマイズできます。

トリッププランナーを使用して、アクティブルートを編集し保存することもできます。

トリップを計画する

1回のトリップに多数の場所を含めることができ、少なくとも始点と目的地は含める必要があります。出発地は、トリップの開始を計画している場所です。トリップのナビゲーションを別の場所から開始する場合、デバイスで最初に出発地に向かうオプションを選択できます。目的地は、トリップの最後の場所です。往復する場合は、出発地と目的地を同じにすることができます。出発地と目的地の間に追加の場所、または経由地を、含めることもできます。

- アプリアクション > トリッププランナ >  > トリップの作成** の順に選択します。
- 出発地の選択** を選択します。
- 始点を選択し、**選択** を選択します。
- 目的地の選択** を選択します。
- 目的地に場所を選択し、**選択** を選択します。
- 必要な場合は、**場所の追加** を選択して、さらに場所を追加します。
- 必要な場所をすべて追加したら、**次へ > 保存** を選択します。
- 名前を入力し、**OK** を選択します。

保存されているトリップをナビゲーションする




- アプリアクション > トリッププランナ** の順に選択します。
- 保存されているトリップを選択します。
- 出発** を選択します。
- 次の目的地を選択して、**開始** を選択します。

トリップの経由地の順序を最適化する

デバイスは、トリップの場所の順序を自動的に最適化して、距離が短く、効率的なルートを作成します。順序を変更しても始点と目的地は変更されません。

トリップを編集するときは、 > **順序の最適化** を選択します。

トリップの場所を編集および並べ替える

- アプリアクション > トリッププランナ** の順に選択します。
- 保存されているトリップを選択します。
- 位置を選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
 - 場所を上下に移動するには、 を選択し、場所をトリップの新しい位置にドラッグします。
 - 選択した場所の後に新しい場所を追加するには、 を選択します。
 - 場所を削除するには、 を選択します。

アクティブルートを編集および保存する

ルートがアクティブな場合、トリッププランナーを使用し、トリップとしてルートを編集および保存できます。

- アプリアクション > トリッププランナ > マイアクティブルート** の順に選択します。
- いずれかのトリッププランナー機能を使用して、ルートを編集します。
ルートは変更を加えるごとに再計算されます。
- トリップとしてルートを保存するには、**保存** を選択します。ナビゲーションは後で再開できます (オプション)。

トリップのルーティングのオプションを変更する

ルーティングのオプションを変更して、トリップのルートを計算する方法を変更できます。

- アプリアクション > トリッププランナ** の順に選択します。

3 **≡** > 無効にするの順に選択します。

カスタム回避を削除する

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - すべてのカスタム回避を削除するには、**☒** を選択します。
 - カスタム回避を 1 件削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、**≡** > 削除の順に選択します。

直行ルートナビゲーション

ナビゲーションの指示に従わなかった場合は、直行モードを使用できます。

- 1 設定 > ナビゲーションの順に選択します。
- 2 計算モード > 直行 > 保存の順に選択します。
次のルートは、目的地への直線ルートとして計算されます。

位置を検索する

デバイスにロードされた地図には、レストランやホテル、自動車関連などの場所や詳細なストリート情報が含まれています。目的地検索メニューは、参照、検索、情報の保存のために利用できる複数の方法により、目的地の検索に役立ちます。

- すべての場所情報をすばやく検索するには、検索語を入力します (検索バーを使用して位置を検索する, 7 ページ)。
- カテゴリごとにロード済みのジャンル別施設を参照または検索します (ジャンル別施設, 7 ページ)。
- 詳細な TruckDown® ディレクトリ情報を含むトラックストップおよびサービスを検索します (利用可能な場合)。
- Foursquare のジャンル別施設を検索し、チェックインします (Foursquare のジャンル別施設を検索する, 8 ページ)。
- 検索ツールを使用して、住所、交差点、または地理座標など特定の場所を検索します (検索ツール, 8 ページ)。
- 別の都市または地域の周辺を検索します (検索エリアを変更する, 7 ページ)。
- お気に入りの場所を保存して後からすばやく検索できます (位置を保存する, 9 ページ)。
- 最近検索した場所に戻ります (最近検索した目的地を検索する, 8 ページ)。

検索バーを使用して位置を検索する

検索バーでは、カテゴリ、ブランド名、住所、または都市名を入力して位置を検索します。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 検索バーで 検索の入力 を選択します。
- 3 検索語の全体または一部を入力します。
検索語の候補が検索バーの下に表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - 業種名を検索するには、「映画館」などのカテゴリ名を入力します。
 - 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
 - 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
 - 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
 - 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
 - 座標を検索するには、緯度 / 経度を入力します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - 検索語の候補を使用して検索するには、検索語を選択します。
 - 入力したテキストを使用して検索するには、**Q** を選択します。

6 必要に応じて、位置を選択します。

検索エリアを変更する

- 1 メインメニューで 目的地検索 を選択します。
- 2 周辺の検索 : を選択します。
- 3 オプションを選択します。

ジャンル別施設

ジャンル別施設は、有用と思われるまたは興味深い場所です。ジャンル別施設は、カテゴリ別に分類されガソリンスタンド、レストラン、ホテル、娯楽施設などよく知られた移動先を含めることができます。

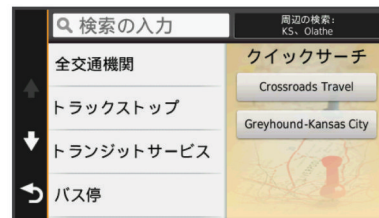
カテゴリを入力して位置を検索する

- 1 目的地検索 を選択します。
- 2 カテゴリを選択するか、または カテゴリ を選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリを選択します。
- 4 位置を選択します。

カテゴリ内を検索する

ジャンル別施設の検索後、ある特定のカテゴリに、最後に選択した目的地からさかのぼって 4 か所を含むクイックサーチリストが表示される場合があります。

- 1 目的地検索 を選択します。
- 2 カテゴリを選択するか、または カテゴリ を選択します。
- 3 カテゴリを選択します。
- 4 該当する場合は、クイックサーチリストから目的地を選択します。



5 必要に応じて、適切な目的地を選択します。

場所内のジャンル別施設にナビゲーションする

ショッピングモール内のストアまたは空港の特定のターミナルなど、大規模な場所の中にあるジャンル別施設 (POI) へのルートを作成できます。

- 1 目的地検索 > 検索の入力 を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - 場所を検索するには、場所の名前または住所を入力し、**Q** を選択して、手順 3 に進みます。
 - POI を検索するには、POI の名前を入力し、**Q** を選択して、手順 5 に進みます。
- 3 場所を選択します。
場所の下にレストラン、レンタカー、またはターミナルなど、カテゴリのリストが表示されます。
- 4 カテゴリを選択します。
- 5 POI を選択し、 出発 を選択します。

デバイスは、POI の周辺の駐車場または場所までのルートを作成します。目的地に到着すると、推奨の駐車場がチェックマークで示されます。ラベルの付いたポイントは、場所内にある POI の位置を示します。

場所の探索

各場所内にあるすべてのジャンル別施設のリストを表示できます。

- 1 場所を選択します。
- 2 **i** > この場所を詳細に調査する を選択します。

トラックのジャンル別施設を検索する

デバイスにロードされた詳細地図には、トラックストップ、サービスエリア、計量場所など、トラックのジャンル別施設が含まれています。

目的地検索 > カテゴリー > トラックの順に選択します。

TruckDown ジャンル別施設 (POI) を検索する

TruckDown デレクトリでは、トラック修理場、タイヤ販売業者など、トラック関連企業が一覧表示されます。

TruckDown デレクトリを利用できない地域もあります。

1 次の中からオプションを選択します。

- トラックと互換性があるジャンル別施設を検索するには、**Truck Locations** を選択します。
- Truck Services** を選択して、トラック向けのサービスの場所を検索します。

2 カテゴリーを選択します。

3 必要な場合は、**施設とブランドでフィルタリング**を選択し、1つ以上の施設を選択して、**保存**を選択します。

注：このオプションは、トラックストップにのみ利用できません。

4 目的地を選択します。

Foursquare®

Foursquare は、場所に基づくソーシャルネットワークです。お使いのデバイスにはロード済みの Foursquare のジャンル別施設があり、場所検索の結果に Foursquare ロゴで示されます。

追加機能については、互換性のあるスマートフォンで Smartphone Link を使用して、Foursquare アカウントに接続できます。Smartphone Link を使用して Foursquare アカウントに接続しているときは、Foursquare の場所の詳細の表示、場所へのチェックイン、およびオンライン Foursquare データベースでジャンル別施設の検索が可能です。

Foursquare のジャンル別施設を検索する

デバイスにロードした Foursquare のジャンル別施設を検索できます。Smartphone Link を使用して Foursquare アカウントに接続しているとき、検索では、オンライン Foursquare データベースから最新の結果が得られ、Foursquare ユーザーアカウントからはカスタマイズされた結果が得られます。

目的地検索 > カテゴリー > Foursquare® の順に選択します。

Foursquare アカウントに接続する

1 デバイスを Smartphone Link に接続します (Smartphone Link に接続する, 17 ページ)。

2 スマートフォンで、Smartphone Link アプリを開きます。

3 Smartphone Link アプリ設定を開き、**Foursquare® > ログイン**を選択します。

4 Foursquare ログイン情報を入力します。

Foursquare の場所の詳細を表示する

Foursquare の場所の詳細を表示する前に、Smartphone Link が実行されているサポートされている電話に接続して、Foursquare アカウントにログインする必要があります。

ユーザー評価、レストランの価格設定情報、営業時間など、Foursquare の場所に関する詳細情報を表示できます。

1 場所についての検索の結果から Foursquare のジャンル別施設を選択します。

2 ⓘ を選択します。

Foursquare によるチェックイン

Foursquare でチェックインする前に、Smartphone Link が実行されているサポートされている電話に接続して、Foursquare アカウントにログインする必要があります。

1 **アプリ > Foursquare® > チェックイン**を選択します。

2 ジャンル別施設を選択します。

3 ⓘ > チェックインを選択します。

検索ツール

検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の位置を検索できます。

住所を検索する

注：デバイスにロードした地図データによっては、手順が異なる場合があります。

1 目的地検索を選択します。

2 必要に応じて、**周辺の検索**：を選択し検索範囲を変更します (検索エリアを変更する, 7 ページ)。

3 アドレスを選択します。

4 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。

5 番地等を選択します。

交差点を検索する

2本のストリート、幹線道路、またはその他の道路の間にある交差点またはジャンクションを検索できます。

1 目的地検索 > カテゴリー > 交差点の順に選択します。

2 画面に表示される指示に従い、ストリート情報を入力します。

3 交差点を選択します。

都市を検索する

1 目的地検索 > カテゴリー > 都市の順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 周辺都市のリストから都市を選択します。
- 別の場所の周辺を検索するには、**周辺の検索**：(検索エリアを変更する, 7 ページ)を選択します。
- 名前で都市を検索するには、**検索の入力**を選択し、都市名を入力して、**Q**を選択します。

座標を使用して位置を検索する

緯度 / 経度を指定して、位置を検索できます。これはジオキャッシングを行う場合に役立ちます。

1 目的地検索 > カテゴリー > 座標の順に選択します。

2 必要に応じて、**↖**を選択し、座標形式やデータを変更します。

3 緯度 / 経度を入力します。

4 地図に表示を選択します。

最近検索した目的地を検索する

デバイスには過去に検索した目的地のうち、最新の 50 件が保存されています。

1 目的地検索 > 最近の項目の順に選択します。

2 位置を選択します。

最近検索した場所のリストを消去する

目的地検索 > 最近の項目 > ☰ > 消去 > はいの順に選択します。

最後に駐車した場所を検索する

デバイスがオンの状態でデバイスを車両電源から取り外すと、現在地が駐車場所として保存されます。

アプリ > 最後の場所の順に選択します。

現在地情報を表示する

[現在地の確認] ページを使用して、現在地に関する情報を表示できます。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。

地図で、車両を選択します。

緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する

[現在地の確認] ページを使用して、直近の病院、警察署、およびガソリンスタンドを検索できます。

1 地図で、車両を選択します。

2 病院、警察署、または **ガソリンスタンド** を選択します。

注：トラックの車両プロファイルがアクティブなとき、ガソリンスタンドの代わりにトラックストップのオプションが表示されます。

選択したサービスの場所のリストが表示され、最寄りの場所が一番上に表示されます。

- 3 位置を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - その場所までのナビゲーションを開始するには、**出発**を選択します
 - 電話番号や場所に関するその他の詳細を表示するには、**①**を選択します。

現在地への道順を表示する

自分が現在いる位置への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2 **≡** > **現在地までの道順**の順に選択します。
- 3 始点を選択します。
- 4 **選択**を選択します。

ショートカットを追加する

[目的地検索]メニューにショートカットを追加できます。ショートカットから、位置、カテゴリ、または検索ツールを直接参照できます。

[目的地検索]メニューには 36 個までのショートカットアイコンを追加できます。

- 1 **目的地検索** > **ショートカットの追加**の順に選択します。
- 2 アイテムを選択します。

ショートカットを削除する

- 1 **目的地検索** > **≡** > **ショートカットの削除**を選択します。
- 2 削除するショートカットを選択します。
- 3 確認のため再度ショートカットを選択します。
- 4 **保存**を選択します。

位置を保存する

位置を保存する

- 1 位置を検索します (カテゴリを入力して位置を検索する, 7 ページ)。
- 2 検索結果から、位置を選択します。
- 3 **①**を選択します。
- 4 **保存**を選択します。
- 5 必要に応じて、名前を入力し、**OK**を選択します。

現在地を保存する

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。
- 2 **保存**を選択します。
- 3 名前を入力し、**OK**を選択します。
- 4 **OK**を選択します。

自宅を保存する

最も頻繁に戻る場所として、自宅の場所を登録することができます。

- 1 **目的地検索** > **≡** > **自宅登録**の順に選択します。
- 2 住所の入力、**現在地**を使用、または **最近検索した場所**を選択します。

現在の位置が、[保存済み]メニューに「自宅」として保存されます。

帰宅する

目的地検索 > **自宅**への順に選択します。

自宅の場所に関する情報を編集する

- 1 **目的地検索** > **保存済み** > **自宅**の順に選択します。

- 2 **①**を選択します。
- 3 **≡** > **編集**の順に選択します。
- 4 変更内容を入力します。
- 5 **OK**を選択します。

保存した位置を編集する

- 1 **目的地検索** > **保存済み**の順に選択します。
- 2 必要に応じて、カテゴリを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 **①**を選択します。
- 5 **≡** > **編集**の順に選択します。
- 6 次の中からオプションを選択します。
 - **名前**を選択します。
 - **電話番号**を選択します。
 - カテゴリを保存した位置に割り当てるには、**カテゴリ**を選択します。
 - 地図上に保存した位置をマークするために使用する記号を変更するには、**地図記号の変更**を選択します。
- 7 情報を編集します。
- 8 **OK**を選択します。

保存した位置にカテゴリを割り当てる

カスタムカテゴリを使用して保存した位置を整理できます。

注：位置を 12 件以上保存すると、カテゴリが [保存した位置]メニューに表示されます。

- 1 **目的地検索** > **保存済み**の順に選択します。
- 2 位置を選択します。
- 3 **①**を選択します。
- 4 **≡** > **編集** > **カテゴリ**の順に選択します。
- 5 1 つ以上のカテゴリ名を、カンマ区切りで入力します。
- 6 必要に応じて、カテゴリの候補を選択します。
- 7 **OK**を選択します。

保存した位置を削除する

注：削除された位置情報を復元することはできません。

- 1 **目的地検索** > **保存済み**の順に選択します。
- 2 **≡** > **保存した場所の削除**の順に選択します。
- 3 削除する保存済み位置情報にチェックをして、**削除**を選択します。

地図を使用する

地図を使用してルートのナビゲーションを行うこと (地図上のルート, 4 ページ) やアクティブなルートがないときに周囲の地図を表示することができます。



- 1 **地図表示**を選択します。
- 2 地図上の任意の場所を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 地図をドラッグして、上下左右に回転します。
 - 拡大または縮小するには、**+**または**-**を選択します。
 - ノースアップ表示と 3D 表示を切り替えるには、**▲**を選択します。
 - 表示されたジャンル別施設をカテゴリ別にフィルタリングするには、**Q**を選択します。
 - ルートを開始するには、地図上で位置を選択し、**出発** (地図を使用してナビゲーションを開始する, 5 ページ)を選択します。

地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながら情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。たとえば、地図を終了せず



に、交通情報の表示、迂回路の検索、または画面の輝度の調整ができます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

地図ツールを表示する

- 1 地図  を選択します。
- 2 地図ツールを選択します。
地図ツールが地図の端にあるパネルに表示されます。
- 3 地図ツールを使い終わったら、 を選択します。

地図ツールを有効にする


デフォルトでは、最も一般的に使用される地図ツールのみが [地図ツール] メニューで有効にされています。別のツールを有効にすることができます。

- 1 地図で  >  を選択します。
- 2 追加する各ツールの横にあるチェックボックスを選択します。
- 3 **保存** を選択します。

この先



現在のルートや走行中の道路の行く手にあるビジネスやサービスを表示できます。サービスはカテゴリー別にフィルタリングされます。

この先のジャンル別施設を検索する

- 1 地図から  > **この先** を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 地図上でジャンル別施設を選択します。

[この先] カテゴリーをカスタマイズする

検索対象となるカテゴリーを変更し、カテゴリーの順序を並べ替え、特定のビジネスやカテゴリーを検索できます。

- 1 地図から  > **この先** を選択します。
- 2 サービスアイコンを選択します。
- 3  を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - リスト内のカテゴリーを上下に移動するには、カテゴリー名の横にある矢印を選択してドラッグします。
 - カテゴリーを変更するには、カテゴリーを選択します。
 - カスタムカテゴリーを作成するには、カテゴリーを選択して、**カスタム検索** を選択し、ビジネスまたはカテゴリーの名前を入力します。
- 5 **OK** を選択します。

トリップ情報


地図からトリップデータを表示する

地図上にトリップデータを表示するには、[地図ツール] メニューにこのツールを追加する必要があります (**地図ツールを有効にする**, 10 ページ)。

地図で  > **出張データ** を選択します。

トリップデータフィールドをカスタマイズする

地図のトリップデータフィールドに表示されるデータをカスタマイズできるようにするには、まず、[地図ツール] メニューにトリップデータツールを追加する必要があります (**地図ツールを有効にする**, 10 ページ)。

- 1 **地図表示** を選択します。
- 2  > **出張データ** フィールドを選択します。
- 3 トリップデータフィールドを選択します。
- 4 オプションを選択します。
トリップデータリストに、新しいトリップデータフィールドが表示されます。

トリップ情報ページを表示する

トリップ情報ページには、速度が表示され、トリップに関する統計情報が表示されます。

注： 経由地が多い場合はデバイスの電源をオンにしておいてください。走行中の経過時間を正確に計測できます。


地図で、**スピード** を選択します。

軌跡ログを表示する

デバイスでは、軌跡ログ (走行した経路の記録) を保持しています。


- 1 **設定** > **地図 / 車両** > **地図レイヤー** の順に選択します。
- 2 **軌跡ログ** チェックボックスをオンにします。

トリップ情報をリセットする

- 1 地図で、**スピード** を選択します。
- 2  > **フィルド** の **他** の順に選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - 先頭ページのスピードメーター以外のデータフィールドをすべてリセットするには、ルートのナビゲーションをしていないときに、**すべて選択** を選択します。
 - トリップコンピュータの情報をリセットするには、**トリップデータの他** を選択します。
 - 最高速度をリセットするには、**最高速度のリセット** を選択します。
 - オドメーターをリセットするには、**トリップ B のリセット** を選択します。


進行方向の交通事故を表示する

現在のルートや走行中の道路の進行方向にある交通事故を表示できます。


- 1 ナビゲーションの実行中に、 > **トラフィック** を選択します。
地図の右側にあるパネルに、進行方向で発生している交通事故のうち、最も近くにあるものが表示されます。
- 2 この交通事故を選択して、追加情報を表示します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、**アプリケーション** > **トラフィック** を選択します。
- 2 必要に応じて、 > **凡例** を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、**アプリケーション** > **トラフィック** を選択します。
- 2  > **事故** を選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

トラック地図を表示する

トラック地図は、Surface Transportation Assistance Act (STAA) 推奨ルート、TruckDown (TD) 推奨ルートなどの認識されたトラックルート、非放射性有害物質 (NRHM) ルートを強調表示します。認識されたルートは、地域とデバイスにロードした地図データにより変化します。

アプリケーション > **トラック地図** を選択します。

警告およびアラート記号

警告

車両のプロファイル特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界

があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

警告およびアラート記号が地図上またはルート方向指示に表示され、危険、道路状況、この先の重量検査所をアラートでお知らせします。

制約に関する警告

	車高
	重量
	軸荷重
	長さ
	幅
	トラック走行禁止
	トレーラー走行禁止
	有害物質禁止
	可燃物禁止
	水質汚染物質禁止
	左折禁止
	右折禁止
	Uターン禁止

道路状況に関する警告

	接地の危険あり
	つづら折れ
	道幅減少
	急カーブ
	急な下り坂
	樹木の張り出し

アラート

	重量検査所
	トラックについては検証されていない道路

スピードカメラ

注記

Garmin は、カスタム POI (主要ポイント) またはスピードカメラデータベースの正確性、およびその使用による影響に対して一切の責任を負いません。

注：この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

一部の製品モデルでは、スピードカメラの場所および制限速度に関する情報を利用できる地域があります。 www.garmin.com/safetycameras に移動して、互換性と購入情報をご確認ください。サブスクリプションを購入したり、ワンタイムアップデート (1 回限りの更新) を行うことができます。新しい地域を購入したり、既存の購読を延長したりすることはいつでもできます。

<http://my.garmin.com> に移動して、既存のスピードカメラのサブスクリプションについて、スピードカメラを更新できます。最新のスピードカメラ情報を受信するために、デバイスを頻繁に更新してください。

デバイスや地域により、基本的なスピードカメラ情報がデバイスに搭載されている場合があります。搭載されているデータには更新やサブスクリプションは含まれません。

地図をカスタマイズする

地図レイヤーをカスタマイズする

ジャンル別施設を表すアイコンや道路状況など、地図上に表示するデータをカスタマイズできます。

- 1 設定 > 地図 / 車両 > 地図レイヤーの順に選択します。
- 2 地図に表示したいレイヤーを選択し、**保存**を選択します。

地図データフィールドを変更する

- 1 地図からデータフィールドを選択します。
注：スピードはカスタマイズできません。
- 2 表示するデータの種類を選択します。

地図表示方法を変更する

- 1 設定 > 地図 / 車両 > 運転地図表示の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - **トラップアップ** を選択すると地図が 2D 表示され、進行方向が常に上になるように表示されます。
 - **ノースアップ** を選択すると地図が 2D 表示され、北が常に上になるように表示されます。
 - **3D** を選択すると地図が 3D 表示されます。
- 3 **保存** を選択します。

トラフィック

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

トラフィック情報を利用できない国や地域もあります。トラフィックレーサーおよび利用可能な地域については、www.garmin.com/traffic を参照してください。

トラフィックレーサーは、一部のパッケージでは、車両電源ケーブルまたはデバイスに組み込まれて同梱されており、すべてのモデルで別売アクセサリとなっています。

- ルート上、または周辺エリアで交通事故が発生しているときに、地図上に交通アラートが表示されます。
- トラフィックレーサーを通して、または Smartphone Link からサブスクリプションサービスとして、トラフィック情報を受信できます ([Garmin ライブサービス, 17 ページ](#)) 。
- Smartphone Link からトラフィック情報を受信するには、デバイスがアクティブなトラフィックサブスクリプションがある Smartphone Link に接続されている必要があります。
- トラフィックレーサーからトラフィック情報を受信するには、デバイスが車両電源に接続されている必要があります。
- トラフィック情報を受信するには、トラフィックデータを送信している局のデータ提供範囲内に電源の入っているトラフィックレーサーとデバイスが必要になる場合があります。
- デバイス、またはトラフィックレーサーに付属のサブスクリプションの場合、有効化は必要ありません。
- お使いのデバイスに外部トラフィックアンテナが付属している場合、最適な受信状態を保つには、常に外部アンテナを接続したままにしてください。

トラフィックレーサーを使用してトラフィックデータを受信する

注記

ヒーター付き (熱線付き) フロントガラスは、交通情報受信機の性能を低下させることがあります。

トラフィックレーサーを使用してトラフィックデータを受信できるようにするには、トラフィック互換の電源ケーブルが必要です。お使いのデバイスモデルに Lifetime 交通情報が付属している場合、デバイスに同梱されている車両電源ケーブルを使用する必要があります。交通情報が付属していない場合は、Garmin トラフィックレーサーアクセサリを購入する必要があります。詳細については、www.garmin.com/traffic を参照してください。

トラフィックデータを送信している局からトラフィック情報を受信することができます。

注：一部の地域では、トラフィック情報は HD Radio™ 技術を使用して FM ラジオ局から受信できます。

- 1 トラフィック互換の電源ケーブルを外部電源に接続します。
 - 2 トラフィック互換の電源ケーブルをデバイスに接続します。
- ユーザーがトラフィック利用可能な地域内にいれば、デバイスにトラフィック情報が表示されます。

Smartphone Link を使用してトラフィックデータを受信する

ライブトラフィックサービスは、トラフィックデータをリアルタイムに提供します。

- 1 互換性のある電話に Smartphone Link をダウンロードします (Smartphone Link をダウンロードする, 17 ページ)。
- 2 ライブトラフィックサービスを購読します (Garmin ライブサービスに申し込む, 17 ページ)。
- 3 デバイスを、Smartphone Link を実行している電話に接続します (Smartphone Link に接続する, 17 ページ)。

渋滞情報受信機



①	Mini-USB コネクタ
②	外部アンテナコネクタ
③	内蔵アンテナ
④	電源 LED
⑤	車両電源アダプター

トラフィックレシーバーを配置する

トラフィックの受信状態が最適になるように、トラフィックレシーバーの電源ケーブルを配置してください。

- 1 ケーブルをほどきます。
 - 2 ダッシュボードなど、上空に妨げになるものがない場所にケーブルの中央を置きます。
- 注：車両の電源に接続するケーブルのプラグ上にこのケーブルをおかないでください。
床の上や他の物の下にケーブルを置かないでください。

トラフィック購読について

購読の有効期限が切れている場合は、購読を追加購入または更新することができます。 <http://www.garmin.com/traffic> にアクセスします。

購読の確認

FM トラフィックレシーバーに付属の購読は有効化する必要はありません。有料サービスプロバイダからトラフィック信号の受信中にデバイスが衛星信号を捕捉すると、購読は自動的に有効化されます。

トラフィックサブスクリプションを表示する

設定 > トラフィック > 購読の順に選択します。

サブスクリプションを追加する

他の地域または国のトラフィックサブスクリプションを購入することができます。

- 1 メインメニューで、トラフィックを選択します。
- 2 購読 > + を選択します。
- 3 FM トラフィックレシーバーのユニット ID を書き留めます。
- 4 サブスクリプションを購入するには、 www.garmin.com/fmtraffic にアクセスして 25 文字のコードを取得してください。

トラフィックサブスクリプションコードは再使用できません。サービスを更新するたびに新しいコードを取得する必要があります。複数の FM トラフィックレシーバーを持っている場合は、レシーバーそれぞれに個別のコードを取得する必要があります。

- 5 デバイスで 次へ を選択します。
- 6 コードを入力します。
- 7 OK を選択します。

トラフィックを有効にする

トラフィックデータを有効または無効にできます。トラフィックデータが無効であるとき、デバイスはトラフィックデータを受信しませんが、trafficTrends™機能が有効化されていれば、渋滞している可能性のあるエリアを回避できます。

- 1 設定 > トラフィックの順に選択します。
- 2 トラフィックチェックボックスをオンにします。

音声コマンド

注：すべての言語や地域で音声コマンドが使用できるわけではありません。また、音声コマンドを利用できないモデルもあります。

注：周囲の音が大きい場合、音声認識ナビが望ましい性能を発揮できない可能性があります。

音声コマンドを使って、単語やコマンドを読み上げてデバイスを 사용할ことができます。[音声コマンド]メニューには、音声プロンプトや利用可能なコマンドのリストが表示されます。

ウェイクアップフレーズを設定する

ウェイクアップフレーズは、音声コマンドをアクティブにするために使用する単語またはフレーズです。デフォルトのウェイクアップフレーズは音声コマンドです。

ヒント：強いウェイクアップフレーズを使用して、音声コマンドが誤動作する可能性を減らすことができます。

- 1 アプリケーション > 音声コマンド > \ > ウェイクアップフレーズの順に選択します。
- 2 新しいウェイクアップフレーズを入力します。
フレーズを入力すると、デバイスにウェイクアップフレーズの強度が示されます。
- 3 OK を選択します。

音声コマンドを有効化する

ウェイクアップフレーズを発音します。

[音声コマンド]メニューが表示されます。

音声コマンドのヒント

- デバイスで指定される通常の音声で発音します。
- 音声やラジオなどの暗騒音を減らすと、音声認識の精度が向上します。
- 画面にコマンドが表示されたら、そのコマンドを発音します。
- 必要に応じて、デバイスからの音声案内に応答します。
- 音声コマンドの誤作動を減らすには、ウェイクアップフレーズを長くします。
- デバイスが音声コマンドへ移行したこと、および終了したことを確認する 2 つのトーンを聞きます。

音声コマンドを使用してナビゲーションを開始する

人気のある、有名な場所の名前を発音できます。

- 1 ウェイクアップフレーズを発音します (ウェイクアップフレーズを設定する, 12 ページ)。
- 2 場所の検索と発音します。

- 3 音声案内を聞き、場所の名前を発音します。
- 4 行番号を発音します。
- 5 ナビゲーションと発音します。

ミュートの手順

デバイスをミュートせずに、音声コマンドの音声案内を無効にすることができます。

- 1 **ｱﾌﾟﾘｰｼｮﾝ > 音声コマンド > ㄱ**を選択します。
- 2 **指示をミュート (消音) にする > 有効**の順に選択します。

音声制御

音声コマンド機能が使用できない地域では、音声制御機能が有効化されません。音声制御機能を使用すると、音声によってデバイスを制御できるようになります。音声制御機能を使用するには、自分の音声で制御できるよう設定する必要があります。

音声制御の設定

ボイスコマンド機能は、1人のユーザーの音声で設定します。設定後は他のユーザーの音声は認識されません。

- 1 **ｱﾌﾟﾘｰｼｮﾝ > ボイスコマンド**の順に選択します。
- 2 画面に表示される指示に従い、各音声制御フレーズのコマンドを記録します。

注：画面のフレーズのとおり読む必要はありません。好みに応じて、同じ意味を持つ別のコマンドを発音することもできます。

音声制御機能を使用するには、その機能に対して記録したコマンドを発音する必要があります。

音声制御の使用

- 1 **ボイスコマンドフレーズ**に対して記録したコマンドを発音します。

[音声制御]メニューが表示されます。

- 2 画面に表示される指示に従います。

音声制御のヒント

- デバイスで指定される通常の音声で発音します。
- 音声やラジオなどの暗騒音を減らすと、音声認識の精度が向上します。
- 画面にコマンドが表示されたら、そのコマンドを発音します。
- デバイスがコマンドを正常に認識すると、トーンが1回鳴ります。

車両およびドライバーツール

Garmin eLog

Garmin eLog アダプターにより、自動車輸送業者はサービス時間の記録および休憩の要件を順守できます。Garmin eLog アダプターを互換性のあるモバイルデバイスとペアリングすると、dēzlCam デバイスにサービス時間の情報を表示できます。Garmin eLog アダプターを利用できない地域もあります。詳細情報や Garmin eLog アダプターの購入については、garmin.com/elog を参照してください。

注：車両プロファイルを使用している場合は、Garmin eLog の機能を使用できません。


dēzl™ デバイスで Garmin eLog の機能をセットアップする

- 1 Garmin eLog アダプターを、モバイルデバイスの Garmin eLog アプリとペアリングします (Garmin eLog デバイスをセットアップする, 13 ページ)。
- 2 dēzl デバイスを、互換性のあるモバイルデバイスとペアリングします (Smartphone Link に接続する, 17 ページ)。
- 3 Garmin eLog アプリを有効にして、dēzl デバイスとペアリングします (Garmin eLog アプリを有効にして dēzl デバイスとペアリングする, 13 ページ)。

- 4 必要に応じて、dēzl デバイスで Garmin eLog の接続を有効にします (dēzl デバイスで Garmin eLog の接続を有効または無効にする, 13 ページ)。

Garmin eLog デバイスをセットアップする

デバイスを使用するには、Garmin eLog アダプターをセットアップして Garmin eLog アプリとペアリングする必要があります。

- 1 モバイルデバイスのアプリストアから、 Garmin eLog アプリをインストールして開きます。
- 2 モバイルデバイスで、画面の指示に従って Garmin eLog システムのセットアップと設定を行います。

注：セットアップ処理が完了するまでデバイスの機能は制限されます。

Garmin eLog アプリを有効にして dēzl デバイスとペアリングする

- 1 Garmin eLog アプリで、ドライバープロファイルにログインします。
- 2 **Settings > Pair to Nearby Garmin dēzl** の順に選択します。

dēzl デバイスで Garmin eLog の接続を有効または無効にする

- 1 dēzl デバイスで、**設定 > Bluetooth** の順に選択します。
- 2 ペアリング対象のモバイルデバイスの名前を選択します。
- 3 **Garmin eLog** チェックボックスをオンまたはオフにします。

Garmin eLog の情報を dēzl デバイスに表示する

Garmin eLog の情報を dēzl デバイスに表示する前に、設定手順を完了する必要があります (dēzl™ デバイスで Garmin eLog の機能をセットアップする, 13 ページ)。

お使いの車両でドライブしていると、Garmin eLog の地図ツールに勤務中ステータスと総運転時間が表示されます。

フィールドを選択すると、残りの運転時間の概要が表示されます。

Garmin eLog の診断イベントや故障イベントを表示する

Garmin eLog デバイスが診断イベントや故障イベントを検出すると、デバイスの画面に通知が表示されます。

診断または故障の通知を選択すると、そのイベントに関する詳細が表示されます。

注：診断イベントや故障イベントに関する追加情報は、Garmin eLog アプリで表示できます。

IFTA

注：この機能を利用できない地域もあります。

この機能を使用する前に、トラックの車両プロファイルをアクティブにする必要があります。

燃料購入データや走行距離数など、International Fuel Tax Agreement (IFTA) ドキュメントに必要なデータを記録できます。

燃費データを入力する

- 1 **ｱﾌﾟﾘｰｼｮﾝ > IFTA > ｶﾞﾘﾝｽﾀﾝﾄﾞ** を選択します。
- 2 1 ガロンあたりの燃料価格を入力します。
- 3 **使用燃料** フィールドを選択します。
- 4 購入した燃料の金額を入力します。
- 5 必要に応じて、燃料タイプを選択します。
 - 量をリットル単位で記録するには、**ガロン > リットル > 保存** を選択します。
 - 量をガロン単位で記録するには、**リットル > ガロン > 保存** を選択します。
- 6 必要に応じて、**税込み** チェックボックスをオンにします。
- 7 **次へ** を選択します。
- 8 給油したガソリンスタンドを記録するオプションを選択します。
 - リストから近くのガソリンスタンドを選択します。

- テキストフィールドを選択し、ガソリンスタンド名と住所を入力します。

9 燃料購入者を選択します。

燃費データを編集する

- 1 **77** リケーション > IFTA > 燃料履歴を選択します。
- 2 必要に応じて、車両プロファイルを選択します。
- 3 必要に応じて、期間（四半期）を選択します。
- 4 燃費記録を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - 情報を編集するには、フィールドを選択します。
 - 記録を削除するには、**X** > はいを選択します。

管轄機関の概要を表示およびエクスポートする

管轄機関の概要には、各四半期中に車両が運行した州または地方ごとにデータが一覧表示されます。管轄機関の概要を利用できない地域もあります。

- 1 **77** リケーション > IFTA > 管轄機関の概要を選択します。
- 2 必要に応じて、トラックを選択します。
- 3 必要に応じて、期間（四半期）を選択します。
- 4 管轄機関の概要をエクスポートするには、**≡** > ジャーナルをエクスポート > OK を選択します。
概要は .csv ファイルにエクスポートされ、デバイスの Reports フォルダに保存されます。

トリップレポートを編集およびエクスポートする

- 1 メインメニューから **77** リケーション > IFTA > トリップレポートを選択します。
- 2 必要に応じて、トラックを選択します。
- 3 必要に応じて、期間（四半期）を選択します。
- 4 ログを選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - レポートを削除するには、**≡** > 削除を選択し、チェックボックスをオンにします。
 - レポートを組み合わせるには、**≡** > 組み合わせを選択し、チェックボックスをオンにします。
 - **≡** > ジャーナルをエクスポート > OK を選択します。レポートは .csv ファイルにエクスポートされ、デバイスの Reports フォルダに保存されます。

エクスポートされた管轄機関の概要およびトリップレポートを表示する

注記

目的がわからないファイルは削除しないでください。デバイスメモリには重要なシステムファイルが保存されています。これらのファイルを削除しないでください。

- 1 デバイスをコンピュータに接続します。
- 2 コンピュータのファイルブラウザで、デバイス内蔵ストレージを参照して、Reports フォルダを開きます。
- 3 IFTA フォルダを開きます。
- 4 .csv ファイルを開きます。

サービス時間について

注記

このデバイスは、サービス時間情報を記録できるようになっていますが、Federal Motor Carrier Safety Administration の規制で定められた業務記録の代替としては認められていません。

ドライバーは、連邦および州により定められたサービス時間の要件をすべて遵守する必要があります。

自動運転記録デバイス (Automatic On-Board Recording Device : AOBRD)

このデバイスを Garmin 認定パートナーによって製造されたテレマティクスデータトランスポンダーと統合して、ドライバーのサービス時間の記録に使用することで、自動車輸送業者は AOBRD の要件を遵守することができます。

Garmin は、認定パートナーのソリューションを使用することで、\$395.15 仕様に準拠できることを明示しているわけではありません。これらはパートナーによってのみ明示されます。また、\$395 への準拠については、その規制が変更された場合も含み、エンドユーザーが責任を負います。Garmin AOBRD パートナーによって提供された証明書を調査して、Part \$395.15 で指定された AOBRD 要件が満たされていることを検証できます。

注：この機能を利用できない地域もあります。

サービス時間を使用する前に、トラックモードにする必要があります。また、ドライバープロファイルを作成する必要もあります (**ドライバーを追加する, 14 ページ**)。

サービス時間を使用して、勤務時間を記録できます。この記録は、安全規定への準拠に役立ちます。

業務ステータスを記録する

- 1 **77** リケーション > サービス時間を選択します。
 - 2 ドライバーを選択します。
 - 3 業務ステータスを選択します。
 - 4 次の中からオプションを選択します。
 - 勤務時間外の時間を記録するには、**非番**を選択します。
 - 寝台で休憩中の時間を記録するには、**睡眠中**を選択します。
 - 勤務中に事業用車両を運転している時間を記録するには、**運転中**を選択します。
 - 勤務中だが事業用車両を運転していない時間を記録するには、**勤務中**を選択します。
 - 2人目のドライバーが助手席にいるが、非番である時間を記録するには、**助手席**を選択します。
- 注：ドライバーは、寝台で連続8時間過ごす直前、または過ごした直後、最高2時間、助手席に座っていることができます。

5 保存を選択します。

ドライバーについて

24時間以内に複数の運送会社で働く場合は、各運送会社別に記録する必要があります。

その他のタイムゾーンにまたがる場合でも、拠点ターミナルのタイムゾーンを記録する必要があります。

ドライバーを追加する

- 1 **77** リケーション > サービス時間を選択します。
- 2 **+** を選択します。
- 3 画面に表示される指示に従います。

ドライバー情報を管理する

- 1 **77** リケーション > サービス時間の順に選択します。
- 2 ドライバーを選択します。
- 3 ドライバー情報を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - 情報を編集するには、フィールドを選択します。
 - ドライバーを削除するには、**≡** > ドライバーの削除 > はいの順に選択します。

運転者ジャーナルを表示および編集する

運転者ジャーナルを使用すると、それぞれの運転者のサービス時間に関するタイムラインの表示および編集ができます。

注：デバイスの設定によっては、運転者ジャーナルの情報の編集ができない場合があります。たとえば、デバイスが自動運転記録デバイス (AOBRD) と統合されている場合などです。

1 アプリケーション > サービス時間を選択します。

2 ドライバーを選択します。

3 ジャーナルを表示を選択します。

現在の日付のタイムラインが表示されます。各ステータスに費やした時間がタイムラインでハイライトされます。

4 次の中からオプションを選択します。

- 別の日付を表示するには、画面上部の日付を選択します。
- ステータスの詳細を見るには、タイムラインのハイライトされたステータスを選択します。
- 新しいステータスを記録するには、タイムラインの空のブロックを選択し、ステータスと時間の情報を編集します。
ヒント：タイムライン上のブロックの位置により、デフォルトのステータスと時間が決まります。行によりステータスが決まり、列により時間が決まります。
- 違反の情報を表示するには、!を選択します。

出荷を追加する

1 アプリケーション > サービス時間を選択します。

2 ドライバーを選択します。

3 出荷の管理 > +を選択します。

4 基準情報を入力して、OKを選択します。

ヒント：参照番号は出荷ドキュメント番号、または運送先の会社名とグループ名です。

5 必要に応じて、開始日を選択します。

6 必要に応じて、終了日を選択します。

7 保存を選択します。

出荷の管理

注：この機能を利用できない地域もあります。

1 アプリケーション > サービス時間の順に選択します。

2 ドライバーを選択します。

3 出荷の管理を選択します。

4 出荷を選択します。

5 次の中からオプションを選択します。

- 出荷情報を編集するには、フィールドを選択します。
- 出荷を削除するには、≡ > 出荷の削除 > OKの順に選択します。

運転者ジャーナルをエクスポートする

1 アプリケーション > サービス時間を選択します。

2 運転者を選択します。

3 ログのエクスポートを選択します。

4 必要に応じて、トラクター番号、トラクターVIN、トレーラー番号を入力します。

5 必要に応じて、エクスポートするジャーナルを選択します。

6 必要に応じて、エクスポートされたジャーナルの保存場所を選択します。

ジャーナルは.csv ファイルにエクスポートされ、デバイスメモリの Reports フォルダに保存されます。

エクスポートされた運転者ジャーナルを表示する

注記

目的がわからないファイルは削除しないでください。デバイスメモリには重要なシステムファイルが保存されています。これらのファイルを削除しないでください。

1 デバイスをコンピュータに接続します ([デバイスをコンピュータに接続する, 22 ページ](#))。

2 コンピュータのファイルブラウザで、デバイスストレージまたはメモリーカードを参照して、Reports フォルダを開きます。

3 HOSexports フォルダを開きます。

4 .csv ファイルを開きます。

サービス履歴をログに記録する

車両がサービスまたは保守を受けるときに、日付およびオドメーターの測定値をログに記録することができます。デバイスにはサービスカテゴリがいくつか用意されています。また、カスタムカテゴリを追加することもできます (「[サービスカテゴリを追加する, 15 ページ](#)」)。

1 アプリケーション > サービス履歴を選択します。

2 サービスカテゴリを選択します。

3 レコードの追加を選択します。

4 オドメーターの測定値を入力し、次へを選択します。

5 コメントを入力します (省略可)。

6 OKを選択します。

サービスカテゴリを追加する

1 アプリケーション > サービス履歴を選択します。

2 ≡ > カテゴリの追加の順に選択します。

3 カテゴリ名を入力してから、OKを選択します。

サービスカテゴリを削除する

サービスカテゴリを削除すると、そのカテゴリに含まれるサービスの記録もすべて削除されます。

1 アプリケーション > サービス履歴を選択します。

2 ≡ > カテゴリの削除の順に選択します。

3 削除するサービスカテゴリを選択します。

4 削除を選択します。

サービスカテゴリの名前を変更する

1 アプリケーション > サービス履歴を選択します。

2 名前を変更するカテゴリを選択します。

3 ≡ > カテゴリ名変更の順に選択します。

4 名前を入力し、OKを選択します。

サービスの記録を削除する

1 アプリケーション > サービス履歴を選択します。

2 サービスカテゴリを選択します。

3 ≡ > レコードの削除の順に選択します。

4 削除するサービスの記録を選択します。

5 削除を選択します。

サービスの記録を編集する

コメント、オドメーターの測定値、およびサービスの記録日を編集できます。

1 アプリケーション > サービス履歴を選択します。

2 カテゴリを選択します。

3 フィールドを選択します。

4 新しい情報を入力して、OKを選択します。

ハンズフリー機能

デバイスをワイヤレスヘッドセットに接続して、ナビゲーション音声案内をヘッドセットから聞くことができます。ヘッドセットに接続している状態で、携帯電話に接続してデバイスやヘッドセットから電話を受けることができます。

Bluetooth 無線技術を有効にする

1 設定 > Bluetooth の順に選択します。

2 Bluetooth を選択します。

ワイヤレスヘッドセットについて

デバイスは無線技術を使用して、音声案内をワイヤレスヘッドセットに送信できます。詳細については、<http://www.garmin.com/bluetooth> を参照してください。

ワイヤレスヘッドセットをペアリングする

注：ナビゲーションプロンプトと通話を同時に受信できるのは、1台のヘッドセットのみです。マルチメディアオーディオには、最大2台のヘッドセットを使用できます。

ヘッドセットを通じてナビゲーションプロンプトを受信するには、互換性のあるモバイルヘッドセットをお使いのデバイスとペアリングする必要があります。

- 1 ヘッドセットと Bluetooth デバイスの距離は 10 m (33 ft.) 以内になるようにします。
- 2 デバイス側で Bluetooth 無線技術を有効にします。
- 3 ヘッドセットで、Bluetooth 無線技術を有効にして、他の Bluetooth デバイスに表示されるようにします。
- 4 **設定 > Bluetooth** の順に選択します。
- 5 画面に表示される指示に従います。

ルートのナビゲーション中、ヘッドセットにナビゲーションプロンプトが送信されるようになります。

ハンズフリー通話について

注：ほとんどの携帯電話とヘッドセットは対応しており使用できますが、特定の携帯電話やヘッドセットの使用は保証できません。お使いの携帯電話では、一部の機能が利用できない場合があります。

Bluetooth 無線技術を使用すると、デバイスを携帯電話とワイヤレスヘッドセットまたはヘルメットに接続し、ハンズフリーデバイスとして使用することができます。お使いの Bluetooth 技術搭載デバイスがデバイスに対応しているかどうかを確認するには、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。

電話をペアリングする

- 1 デバイスと dēzlCam 電話の距離は 10 m (33 ft.) 以内になるようにします。
- 2 電話側で Bluetooth 無線技術を有効にして、電話を検出可能に設定します。
- 3 デバイスで dēzlCam **設定 > Bluetooth** の順に選択します。
- 4 電話および dēzlCam デバイスで画面に表示される指示に従います。

デバイスをペアリングした後のヒント

- 初回のペアリング後、電源をオンにするたびに、2つのデバイスは自動的に接続されます。
- 電話がデバイスに接続されたら、音声通話を受信する準備は完了です。
- 電源をオンにすると、デバイスは最後に接続した電話に接続を試みます。
- また、デバイスをオンにしたとき、デバイスと自動的に接続するように、電話での設定が必要な場合があります。

電話をかける

番号をダイヤルする

- 1 **アプリケーション > 電話 > ダイヤル** の順に選択します。
- 2 番号を入力します。
- 3 **ダイヤル** を選択します。

電話帳の連絡先に電話をかける

電話とデバイスが接続されるたびに電話帳が電話からデバイスにロードされます。電話帳が利用可能になるまでに数分かかることがあります。一部の電話機ではこの機能はサポートされていません。

- 1 **アプリケーション > 電話 > 電話帳** の順に選択します。
- 2 連絡先を選択します。
- 3 **通話** を選択します。

施設に電話をかける

- 1 **アプリケーション > 電話 > カテゴリー** を参照の順に選択します。
- 2 ジャンル別施設を選択します。
- 3 **通話** を選択します。

電話を受ける

電話がかかってきたときには、**回答**または**無視**を選択します。

通話履歴を使用する

電話とデバイスが接続されるたびに通話履歴が電話からデバイスにロードされます。通話履歴が利用可能になるまでに数分かかることがあります。一部の電話機ではこの機能はサポートされていません。

- 1 **アプリケーション > 電話 > 通話履歴** の順に選択します。
- 2 **カテゴリー** を選択します。
通話の一覧が表示されます。最新の通話が一番上です。
- 3 **通話** を選択します。

通話中オプションを使用する

通話中に、地図から通話中オプションを選択できます。

- 音声の出力先を電話に切り替えるには、**📞** を選択します。
ヒント：この機能は、通話中にデバイスの電源をオフにする場合やスピーカーでなく電話で話したい場合に使用します。
- ダイヤルパッドを使用するには、**☎** を選択します。
ヒント：この機能を使用して、留守番電話などの自動システムを使用できます。
- マイクをミュートするには、**🔇** を選択します。
- 電話を切るには、**📞** を選択します。

自宅の電話番号を保存する

ヒント：自宅の電話番号を保存した後で、この番号を編集するには、保存した位置リストにある「自宅」を編集します（[保存した位置を編集する, 9 ページ](#)）。

- 1 **アプリケーション > 電話 > ☰ > 自宅電話番号の設定** の順に選択します。
- 2 電話番号を入力します。
- 3 **OK** を選択します。

自宅に電話をかける

自宅に電話をかける前に、自宅の電話番号を入力する必要があります。

アプリケーション > 電話 > 自宅へ電話 の順に選択します。

追加 Bluetooth デバイスのペアリング

- 1 ヘッドセットまたは電話と Bluetooth デバイスの距離は 10 m (33 ft.) 以内になるようにします。
- 2 デバイス側で Bluetooth 無線技術を有効にします。
- 3 ヘッドセットまたは電話で、Bluetooth 無線技術を有効にして、他の Bluetooth デバイスに表示されるようにします。
- 4 デバイスで、**設定 > Bluetooth > デバイスの検索** の順に選択します。
周辺にある Bluetooth デバイスのリストが表示されます。
- 5 リストからヘッドセットまたは電話を選択します。
- 6 **OK** を選択します。

Bluetooth デバイスの取り外し

ペアリングされているデバイスのリストから削除しないで、Bluetooth デバイスを一時的に取り外すことができます。Bluetooth デバイスは dēzlCam デバイスに後で自動的に接続できます。

- 1 **設定 > Bluetooth** の順に選択します。
- 2 取り外すデバイスを選択します。
- 3 [**デバイス**] チェックボックスをオフにします。

ペアリングした Bluetooth デバイスを削除する

ペアリングした Bluetooth デバイスを削除して、今後自動的に dezlCam デバイスに接続できないようにすることができます。

- 1 設定 > Bluetooth の順に選択します。
- 2 削除するデバイスを選択します。
- 3 ペアリングの解除を選択します。

アプリケーションを使用する

ヘルプを使用する

デバイスの使用方法に関する情報を表示するには、**アプリ > ヘルプ** の順に選択します。

ヘルプトピックを検索する

アプリ > ヘルプ > Q の順に選択します。

Smartphone Link

Smartphone Link は電話データ接続を使用して位置データを電話と同期しライブ情報にアクセスするための電話アプリケーションです。デバイスは Bluetooth 無線技術を使用して、Smartphone Link からデータを転送します。ライブ情報は Garmin ライブサービスが提供する無料の購読ベースプランから利用できます ([Garmin ライブサービス](#), 17 ページ)。

デバイスを Smartphone Link に接続するたびに、保存されている場所と最近検索した場所が電話と同期されます。

Smartphone Link をダウンロードする

Smartphone Link は一部のスマートフォンで利用できます。互換性と購入情報については、www.garmin.com/smartphonelink を参照するか、お使いの携帯電話のアプリケーションストアを参照してください。

サポートされている電話のアプリケーションストアから Smartphone Link をダウンロードします。

アプリケーションのダウンロードとインストールについては、使用している電話に付属のマニュアルを参照してください。

Smartphone Link に接続する

Smartphone Link に接続するには、Smartphone Link アプリをダウンロードし、電話にインストールする必要があります。

- 1 電話の Smartphone Link を起動します。
- 2 デバイスから、**設定 > Bluetooth** の順に選択します。
- 3 **Bluetooth** チェックボックスをオンにします。
- 4 電話で、Bluetooth 無線技術を有効にし、近くにある Bluetooth デバイスをスキャンします。
詳細についてはデバイスのマニュアルを参照してください。
- 5 電話の周辺デバイスリストから、使用しているデバイスを選択します。
- 6 電話およびデバイスで画面に表示される指示に従って、ペアリングの要求を確認します。
※が、Smartphone Link が接続されているときに、デバイスのステータスバーに表示されます。

電話からデバイスに位置を送信する

Smartphone Link は、電話にナビゲーションアプリケーションとして登録されています。

- 1 電話から、ある位置へのナビゲーションを開始するためのボタンを選択します (電話に付属のマニュアルを参照)。
- 2 アプリケーションメニューで、**Smartphone Link** を選択します。

次回、デバイスを電話に接続すると、その位置が、デバイスの最近検索した場所に転送されます。

Smartphone Link に接続している間は通話を無効にするデバイスが電話機に接続し、Garmin ライブサービスを受信中、ハンズフリー通話を無効にできます。

- 1 **設定 > Bluetooth** の順に選択します。
- 2 電話機を選択します。
- 3 **通話** チェックボックスをオフにします。

Garmin ライブサービス

Garmin ライブサービスを使用する前に、Smartphone Link が実行されているサポートされている電話にデバイスを接続しておく必要があります ([Smartphone Link に接続する](#), 17 ページ)。

Smartphone Link に接続すると、Garmin ライブサービスにアクセスできるようになります。Garmin ライブサービスには、渋滞状況や天気などのライブデータをデバイスで表示するための、サブスクリプションベースプランが無料で用意されています。

天気など、サービスの中には独立したアプリとしてデバイスで使用するものがあります。また、ライブトラフィックなど、デバイスに既に存在しているナビゲーション機能を強化するサービスもあります。Garmin ライブサービスへのアクセスを必要とする機能には、Smartphone Link 記号が、デバイスが Smartphone Link に接続されている場合のみ表示されます。

Garmin ライブサービスに申し込む

Garmin ライブサービスに申し込むには、あらかじめ、電話に Smartphone Link アプリケーションをインストールしておく必要があります。

- 1 電話の Smartphone Link アプリケーションを起動します ([Smartphone Link に接続する](#), 17 ページ)。
- 2 **マイアカウント** を選択します。
サービスとサブスクリプション価格の一覧が表示されます。
- 3 サービスを選択します。
- 4 価格を選択します。
- 5 **サブスクリプション** を選択します。
- 6 画面に表示される指示に従います。

トラフィックカメラについて

トラフィックカメラは、主要な道路および交差点の交通状況をライブ画像で提供します。定期的に表示させたいカメラを保存できます。

トラフィックカメラを保存する

この機能を使用する前に、photoLive サービスに申し込み、Smartphone Link が実行されているサポートされている電話にデバイスを接続しておく必要があります ([Smartphone Link](#), 17 ページ)。

この機能を利用できない地域もあります。

- 1 **アプリ > photoLive** を選択します。
- 2 **触れて追加** を選択します。
- 3 道路を選択します。
- 4 交差点を選択します。
- 5 **保存** を選択します。

トラフィックカメラを表示する

トラフィックカメラを表示できるようにするには、トラフィックカメラを保存する必要があります ([トラフィックカメラを保存する](#), 17 ページ)。

- 1 **アプリ > photoLive** の順に選択します。
- 2 カメラを選択します。

ecoRoute について

ecoRoute™ 機能を使用するために、解除コードの購入が必要となる地域もあります。詳細については、www.garmin.com/ecoroute を参照してください。

注：この機能は車両プロファイルを使用しているときにのみ利用できます。

ecoRoute 機能は、目的地までの燃費と燃料価格を算出し、燃料効率を向上させるためのツールとして使用できます。

ecoRoute 機能で提供される情報は推定情報です。データを実際に車両から読み取っているわけではありません。

車両を設定する

ecoRoute 機能を初めて使用するときに、車両情報を入力する必要があります。

- 1 **77' リケーション > ecoRoute™** の順に選択します。
- 2 画面に表示される指示に従います。

燃料価格を変更する

- 1 **77' リケーション > ecoRoute™ > ガソリンスタンド*** を選択します。
- 2 現在の燃料価格を入力し、**次へ**を選択します。
- 3 **はい**を選択します。

燃費を校正する

特定の車両や運転のクセを考慮したより正確な燃料レポートを作成するために、燃費を校正することができます。校正は、燃料タンクを満タンにするときに行う必要があります。

- 1 **77' リケーション > ecoRoute™ > ガソリンスタンド*** の順に選択します。
- 2 現在の燃料価格を入力します。
- 3 前回燃料タンクを満タンにしてから車両で使った燃料の量を入力します。
- 4 前回燃料タンクを満タンにしてから走行した距離を入力します。
- 5 **次へ**を選択します。
デバイスにより、車両の平均燃費が計算されます。
- 6 **保存**を選択します。

ecoChallenge について

ecoChallenge を使用すると、運転のクセなどを評価し、車両の燃費を最大限に向上させることができます。ecoChallenge スコアが高いと、より多くの燃料が節約されます。ecoChallenge は、デバイスが移動中で交通モードが [自動車] のときにデータを収集し、スコアを計算します。

ecoChallenge スコアを表示する

77' リケーション > ecoRoute™ > コレクション* の順に選択します。

ecoChallenge スコアについて

ブレーキ: 滑らかで緩やかな減速のスコアを表示します。急ブレーキの場合は、ポイントを失います。

加速: 滑らかで緩やかな加速のスコアを表示します。急加速の場合は、ポイントを失います。

合計: 速度、加速、および減速の平均スコアを表示します。

速度: 燃費を節約するための最適な速度で車両を運転している場合のスコアを表示します。

ecoChallenge スコアをリセットする

- 1 **77' リケーション > ecoRoute™ > コレクション*** の順に選択します。
- 2 **☰** > **リセット**を選択します。

燃費情報を表示する

- 1 **77' リケーション > ecoRoute™ > 燃費** の順に選択します。
- 2 拡大するには、グラフの一部を選択します。

燃費レポート

燃費レポートには、目的地までの距離、時間、平均燃費、および燃料費が表示されます。

燃費レポートは、走行するルートごとに作成されます。デバイス上のルートを停止すると、それまで走行した距離について燃費レポートが作成されます。

燃費レポートを表示する

保存されている燃費レポートをデバイスで表示できます。

ヒント: デバイスをコンピュータに接続すると、このデバイスの Reports フォルダにある燃費レポートにアクセスできます。

- 1 **77' リケーション > ecoRoute™ > 燃費レポート** の順に選択します。
- 2 **ログ**を選択します。

ecoRoute 情報をリセットする

- 1 **77' リケーション > ecoRoute™ > 車両プロフィール** の順に選択します。
- 2 **リセット**の順に選択します。

運転のヒント

- 制限速度を守りましょう。多くの車両では、45~60 mph が最適な燃費を達成できる速度です。
- 一定の速度を保ちましょう。
- 急ブレーキや急な加速をせず、一定の速度で運転しましょう。
- 渋滞時ののろのろ運転は避けましょう。
- ブレーキペダルに足を置いたままにするのはやめましょう。
- クルーズコントロールを使用しましょう。
- 一時停車時はアイドリングせずにエンジンを切りましょう。
- 短距離間を何度も走行するのではなく、一度の走行で複数地点を回るようにしましょう。
- 高速道路の高速走行時以外は、エアコンを切って窓を開けましょう。
- ガソリンキャップはしっかりと閉めましょう。
- 駐車時は日陰または屋根付きのガレージを選びましょう。
- 車載重量を超えないようにしましょう。不要な物は積まないでください。
- 屋根に物を載せないようにしましょう。使用時以外は、ルーフトップキャリアやラックは取り外してください。
- 推奨されているタイヤの空気圧を維持しましょう。タイヤの空気圧は定期的に点検してください (特に長距離走行前)。
- 車両は常に良好な状態を維持しましょう。自動車メーカーの推奨する保守点検スケジュールを守ってください。
- オイル、オイルフィルター、エアフィルターは定期的に交換しましょう。
- 推奨されている適切な燃料のうち、最もグレードの低いものを使用しましょう。可能であれば、E85 やバイオディーゼルなどのバイオ燃料を使用しましょう。

myGarmin メッセージを表示する

この機能を使用する前に、Smartphone Link が実行されている、サポート対象電話にデバイスを接続しておく必要があります (Smartphone Link に接続する, 17 ページ)。この機能を利用できない地域もあります。

ソフトウェア更新や地図更新の通知など、myGarmin からのメッセージを表示させることができます。

- 1 **77' リケーション > myGarmin™** の順に選択します。
未読のメッセージがある場合、myGarmin アイコンに未読メッセージの件数が表示されます。
- 2 メッセージの件名を選択します。
メッセージ本文が表示されます。

天気予報を表示する

この機能を使用する前に、Smartphone Link が実行されている、サポートされている電話にデバイスを接続しておく必要があります (Smartphone Link に接続する, 17 ページ)。この機能を利用できない地域もあります。

- 1 **77' リケーション > 天気** の順に選択します。
- 2 曜日を選択します。
選択した曜日の詳細な天気予報が表示されます。

別の都市周辺の天気を表示する

- 1 **77' リケーション > 天気 > 現在地** の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - お気に入りの都市の天気を表示するには、リストの都市を選択します。

- お気に入りの都市を追加するには、**都市の追加**を選択し、都市名を入力します。

気象観測レーダーを表示する

この機能を使用する前に、スマートフォンリンクを使用して、詳細な天気予報サービスを購入する必要があります。

地図上に現在の天候が色分けされたアニメーションで表示され、天気アイコンも表示されます。天気アイコンが、雨、雪、雷雨など、近隣の天候の表示に変化します。

- 1 **天気** > 天気を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3 **☰** > 気象観測レーダーを選択します。

気象警報を表示する

この機能を使用する前に、スマートフォンリンクを使用して、詳細な天気予報サービスを購入する必要があります。

デバイスと共に移動中に、気象警報が地図上に表示されることがあります。また、現在地または選択した都市周辺の気象警報の地図を表示することもできます。

- 1 **天気** > 天気を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3 **☰** > 気象警報の順に選択します。

道路状況を確認する

この機能を使用する前に、スマートフォンリンクを使用して、詳細な天気予報サービスを購入する必要があります。

- 1 **天気** > 天気を選択します。
- 2 必要に応じて、都市を選択します。
- 3 **☰** > 道路状況を選択します。

前のルートと目的地を表示する

この機能を使用する前に、走行履歴機能を有効にする必要があります (デバイスおよびプライバシー設定, 20 ページ)。

前のルートと停止した場所を地図上に表示することができます。

天気 > 目的地の履歴を選択します。

デバイスをカスタマイズする

地図および車両設定

設定 > **地図 / 車両**の順に選択します。

車両: 地図上で自分の位置を示すアイコンを設定します。その他のアイコンについては、www.garmin.com を参照してください。

運転地図表示: 地図の表示方法を設定します。

詳細度: 地図の詳細度を設定します。詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

地図テーマ: 地図データの色を変更します。

地図ツール: 地図のツールメニューに表示するショートカットを設定します。

地図レイヤー: 地図ページに表示するデータを設定します (**地図レイヤーをカスタマイズする**, 11 ページ)。

サウンドによる注意と警告: 制限速度の変更、さまざまな道路状況、および州および国の境界など、特定タイプの注意や警告に対する警告音の再生を有効にできます。このオプションは、トラックの車両プロファイルを使用しているときのみ利用できます。

オーディブルスピードアラート: 制限速度を超えて運転している場合には、警告を發します。

注: この機能を利用できない地域もあります。

マイマップ: デバイスで使用されるインストール済み地図を設定します。

地図を有効にする

デバイスにインストールされている地図製品を有効にすることができます。

ヒント: 追加の地図製品を購入するには、<http://buy.garmin.com> にアクセスしてください。

- 1 **設定** > **地図 / 車両** > **マイマップ**の順に選択します。
- 2 地図を選択します。

ナビゲーション設定

[ナビゲーション設定] ページを開くには、メインメニューから**設定** > **ナビゲーション**の順に選択します。

計算モード: ルート計算方法を設定します。

回避: ルート上で回避する道路の特徴を設定します。

カスタム回避: 特定の道路や地域を回避することができます。

環境ゾーン: お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域に回避の環境設定を行います。

有料道路: 有料道路を回避する環境設定を設定します。

通行料金: 有料道路と料金ステッカーを回避する環境設定を設定します。

注: この機能を利用できない地域もあります。

制限モード: 運転中に注意散漫になって事故を招く恐れのあるすべてのデバイス機能が無効になります。

GPS シミュレーター: デバイスによる GPS 信号の受信を停止し、バッテリーを節約します。

計算モードの設定

設定 > **ナビゲーション** > **計算モード**の順に選択します。

ルート計算モードは、道路の速度データや車両の加速率に基づいています。

時間優先: 一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。

距離優先: 走行距離が短くなるようにルートを計算しますが、走行時間は長くなる場合があります。

燃料優先: 他のルートより消費する燃料が少なくなるようにルートを計算します。

直行: 現在地から目的地までの直線距離を計算します。

シミュレートされた場所を設定する

屋内にいる場合、または衛星信号を受信していない場合、GPS を使用してシミュレートした場所を設定することができます。

- 1 **設定** > **ナビゲーション** > **GPS シミュレーター**を選択します。
- 2 メインメニューで、**地図表示**を選択します。
- 3 地図を2回タップして、エリアを選択します。
この位置の住所が画面の下部に表示されます。
- 4 位置の説明を選択します。
- 5 **現在地変更**を選択します。

カメラ設定

設定 > **カメラ**の順に選択します。

起動時に録画: デバイスをオンにしたときにダッシュカメラが自動的にビデオの録画を開始します。

自動事故検出: 運転中の事故を検出した場合に、自動的にビデオを保存します。

音声録音設定: ビデオの録画中にデバイスのマイクを使用してオーディオを録音します。

タイムスタンプ設定: 録画されたビデオに日付、時刻、位置、速度の情報を含めます。

ビデオ解像度: ビデオ録画の解像度と画質を設定します。

簡易パーキングモード: 外部電源が失われたときに選択した時間までビデオの録画を続けます。

Bluetooth 設定

設定 > Bluetooth の順に選択します。

Bluetooth: Bluetooth 無線技術を有効にします。

デバイスの検索: 周辺にある Bluetooth 搭載デバイスを検索します。

フレンドリー名: Bluetooth 無線技術で、デバイスの識別に使用されるわかりやすい名前を入力します。

Bluetooth を無効にする

1 設定 > Bluetooth の順に選択します。

2 Bluetooth を選択します。

ディスプレイ設定

[ディスプレイ設定] ページを開くには、メインメニューから 設定 > 表示 の順に選択します。

カラーモード: デバイスが昼または夜の色を表示するように設定します。自動を選択して、時刻に基づいてデバイスが自動的に昼または夜の色を設定するようにできます。

輝度: ディスプレイの輝度を調整します。

ディスプレイ省電力モード: デバイスがスリープモードに移行するまでのアイドル状態の長さを設定します。

キャプチャ: デバイス画面の画像を撮影できます。スクリーンショットは、デバイスの Screenshot フォルダに保存されます。

トラフィック設定

トラフィック設定ページを開くには、メインメニューで、設定 > トラフィック の順に選択します。

トラフィック: トラフィックを有効にします。

現在のプロバイダ: トラフィックデータに使用するトラフィックプロバイダを設定します。自動の場合、利用可能なトラフィックデータのうち最適なものが自動的に選択されます。

購読: 現在のトラフィックサブスクリプションをリスト表示します。

最適なルート: 最適な代替ルートを自動的に使用するか、要求に応じて使用するかを選択します (ルート上の交通遅延を回避する, 6 ページ)。

交通アラート: デバイスが交通アラートを表示する交通遅延状態の程度を選択します。

trafficTrends™: trafficTrends 機能を有効にします。

単位および時間設定

単位および時間設定ページを開くには、メインメニューで、設定 > 単位 / 時間の順に選択します。

現在の時刻: デバイスの時間を設定します。

時刻の形式: 表示時間に 12 時間、24 時間、または UTC を選択できます。

単位: 距離の測定に使用する単位を設定します。

位置フォーマット: 地理座標に使用する座標形式とデータを設定します。

時間を設定する

1 メインメニューから時間を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- GPS 情報を使用して自動的に時間を設定するには、自動を選択します。
- 時間を手動で設定するには、数字を上下にドラッグします。

言語およびキーボード設定

[言語およびキーボード設定] を開くには、メインメニューから 設定 > 言語 / キーボード を選択します。

音声言語: 音声案内の言語を変更します。

テキスト言語: 画面に表示されるすべてのテキストを、選択された言語に変更します。

注: テキスト言語を変更しても、ユーザー入力データまたは通り名などの地図データの言語は変更されません。

キーボード言語: キーボード言語を有効にします。

近接アラート設定

注: 近接ポイントアラートを表示するには、カスタム POI (主要ポイント) がロードされている必要があります。

設定 > 近接アラートの順に選択します。

オーディオ: 近接ポイントに近づいた時に鳴るアラートのスタイルを設定します。

アラート: アラートが鳴る近接ポイントの種類を設定します。

デバイスおよびプライバシー設定

デバイスの設定ページを開くには、設定 > デバイス を選択します。

バージョン情報: ソフトウェアバージョン番号、ユニット ID 番号、その他の複数のソフトウェア機能についての情報を表示します。

EULA: エンドユーザー使用許諾契約を表示します。

注: システムソフトウェアの更新または追加地図データの購入時に、この情報が必要となります。

位置レポート: 位置情報を Garmin と共有してコンテンツの品質を向上させます。

走行履歴: デバイスで myTrends 目的地の履歴、および軌跡ログ機能に関する情報を記録します。

走行履歴の消去: myTrends 目的地の履歴、および奇跡ログ機能から走行履歴を消去します。

設定を初期化する

設定のカテゴリまたはすべての設定を工場出荷時の初期設定値に戻すことができます。

- 1 設定を選択します。
- 2 必要に応じて、設定のカテゴリを選択します。
- 3 ≡ > 初期化の順に選択します。

デバイス情報

デバイスのお手入れ

注記

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

デバイスを水に濡らさないでください。

外側ケースのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

- 1 低刺激性の洗浄液で湿らせた布で、デバイスの外側ケース (タッチスクリーン以外) を拭きます。
- 2 デバイスの湿気を拭き取ります。

タッチスクリーンのクリーニング

- 1 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。
- 2 必要に応じて、布を軽く湿らせます。
- 3 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。

4 力を入れずに画面を布で拭きます。

盗難防止

- 使用しないときは、デバイスおよびマウントを見えるところから取り外してください。
- 吸着カップによって付いたフロントガラス上の汚れを取り除いてください。
- ユニットをダッシュボードのグローブボックスに入れておかないでください。
- お使いのデバイスは <http://my.garmin.com> で登録してください。

デバイスをリセットする

デバイスが動作を停止した場合は、リセットできます。

電源キーを 12 秒間押し続けます。

仕様

動作温度範囲	-20°~55°C (-4°~131°F)
充電温度範囲	0°~45°C (32°~113°F)
電源入力	付属の車両用電源ケーブルを使用した電源供給 別売アクセサリを使用して AC 電源から電源供給 (家庭やオフィスでの使用時限定)
バッテリータイプ	充電式リチウムイオン

付録

サポートおよび更新

Garmin Express™ では、Garmin デバイスが利用できるサービスに簡単にアクセスできます。

- 製品登録
- 製品マニュアル

Garmin Express を設定する

- 1 USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。
- 2 www.garmin.com/express を参照してください。
- 3 画面に表示される指示に従います。

Garmin Express による地図とソフトウェアの更新

Garmin Express ソフトウェアを使用して、お使いのデバイスに対応した最新の地図やソフトウェアアップデートをダウンロードしてインストールできます。地図の更新では、お使いのデバイスで引き続き目的地への正確で効率的なルートを計算できるように利用可能な最新の地図データを提供します。Garmin Express は、Windows® コンピュータおよび Mac® コンピュータで利用できます。

- 1 コンピュータから www.garmin.com/express にアクセスしてください。



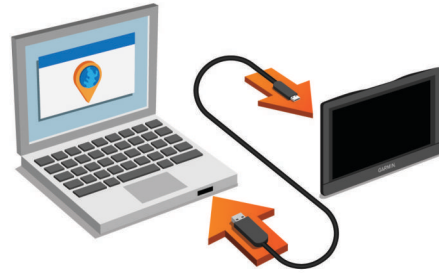
- 2 次の中からオプションを選択します。

- Windows コンピュータにインストールするには、**ダウンロード (Windows)** を選択します。
- Mac コンピュータにインストールするには、**Mac 版** を選択します。

- 3 ダウンロードファイルを開き、画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。

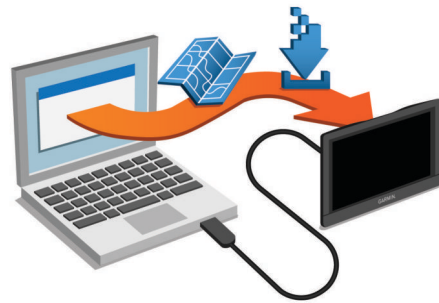
- 4 Garmin Express を開始します。

- 5 USB ケーブルを使用して、Garmin デバイスをコンピュータに接続します。



Garmin Express ソフトウェアがデバイスを検出します。

- 6 製品登録のための電子メールアドレスを入力します (オプション)。
- 7 デバイスの保存をクリックします。
- 8 更新を確認をクリックします。
利用可能な地図更新やソフトウェア更新のリストが表示されます。
- 9 インストールする更新を選択します。
- 10 今すぐインストールをクリックします。



Garmin Express ソフトウェアがデバイスに更新をダウンロードしてインストールします。地図の更新は非常に大きく、インターネットの接続速度が遅い場合、この処理には長時間かかる場合があります。

データ管理

ファイルをデバイスに保存できます。デバイスには、データストレージを追加できるメモリーカードスロットがあります。

注：このデバイスは、Windows 95、98、Me、Windows NT®、および Mac OS 10.3 以下には対応していません。

メモリーカードについて

家電販売店からメモリーカードを購入したり、あらかじめロードされている Garmin 地図ソフトウェア (www.garmin.com) を購入できます。地図やデータの記録に加え、メモリーカードを使用して、地図、イメージ、ジオキャッシュ、ルート、ウェイポイント、およびカスタム POI などのファイルを保存できます。

地図およびデータ用のメモリーカードを挿入する

メモリーカードを挿入して、デバイスの地図やその他のデータの記憶容量を増やすことができます。メモリーカードを家電量販店から購入するか、Garmin 地図ソフトウェアがあらかじめロードされているメモリーカードを www.garmin.com/maps で購入できます。このデバイスは microSD および microSDHC メモリーカードをサポートします。

- 1 メモリーカード①をスロット②に挿入します。



2 カチッと音がするまで押し込んでください。

デバイスをコンピュータに接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続できます。

- 1 USB ケーブルの小さい方の端をデバイスのポートに接続します。
- 2 USB ケーブルの大きい方の端をコンピュータのポートに接続します。
コンピュータとデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。
コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

コンピュータからデータを転送する

- 1 デバイスをコンピュータに接続します (**デバイスをコンピュータに接続する**, 22 ページ)。
コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。
- 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 [**編集**] > [**コピー**] の順に選択します。
- 5 デバイス上のフォルダを参照します。
注：リムーバブルドライブまたはボリュームの場合、Garmin フォルダにファイルを入れないでください。
- 6 [**編集**] > [**貼り付け**] の順に選択します。

USB ケーブルを取り外す

デバイスがリムーバブルドライブまたはボリュームとしてコンピュータに接続されている場合、データの損失を避けるため、デバイスをコンピュータから安全に取り外す必要があります。デバイスがポータブルデバイスとして Windows コンピュータに接続されている場合は、安全に取り外す必要はありません。

- 1 次の手順を実行します。
 - Windows コンピュータの場合、システムトレイの [**ハードウェアの安全な取り外し**] アイコンを選択し、デバイスを選択します。
 - Mac コンピュータの場合は、ボリュームアイコンをごみ箱にドラッグします。
- 2 コンピュータからケーブルを取り外します。

GPS 信号ステータスを表示する

📶 を 3 秒間押し続けます。

電源ケーブル

デバイスはさまざまな方法で電源をオンにできます。

- 車両電源ケーブル
- USB ケーブル
- AC アダプター (別売アクセサリ)

デバイスを充電する

注：このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- デバイスを車両電源ケーブルに接続します。

- USB ケーブルを使用してデバイスをコンピュータに接続します。
コンピュータに接続しているときは、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。一部のポータブルコンピュータでは、デバイスが充電されない場合があります。
- コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリにデバイスを接続します。
家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの Garmin AC-DC アダプターを Garmin 販売店または www.garmin.com から購入できます。

車両電源ケーブルのヒューズを交換する

注記

ヒューズを交換する場合は、小さな部品をすべてなくさないようにし、それらを正しい場所に戻してください。車両電源ケーブルを誤って取り付けると、動作しません。

車両からデバイスに充電できない場合は、車両用アダプターの先端にあるヒューズの交換が必要な場合があります。

- 1 先端①を反時計回りに 90 度回して、ロック解除します。



ヒント：先端の取り外しには、硬貨を使用する必要がある場合があります。

- 2 先端、銀色のチップ②、およびヒューズ③を取り外します。
- 3 1 A または 2 A など、同じ電流の新しい速断ヒューズを挿入します。
- 4 銀色のチップが先端にはまっていることを確認します。
- 5 先端を押し込み、90 度回転して、車両電源ケーブル④にロックします。

デバイス、マウント、吸着カップを取り外す

マウントからデバイスを取り外す

- 1 デバイスの上部と下部をしっかりと持ちます。
- 2 マグネットから外れるまで、デバイスの下端を自分の方へ引きます。
デバイスを自分に対し垂直に引くと、マウントが吸着カップから外れる可能性があります。

吸着カップからマウントを取り外す

- 1 デバイスのマウントを右または左に回転させます。
- 2 マウントのソケットから吸着カップのボールが外れるまで力を掛けます。

フロントガラスから吸着カップを取り外す

- 1 吸着カップのレバーを自分の方に倒します。
- 2 吸着カップのつまみを自分の方に引きます。

追加の地図を購入する

- 1 デバイス製品ページ (www.garmin.com) にアクセスします。
- 2 [**地図**] タブをクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従います。

アクセサリを購入する

<http://buy.garmin.com> にアクセスします。

トラブルシューティング

吸盤がフロントガラスに取り付けられない

- 1 吸盤とフロントガラスを消毒用アルコールで拭き取ります。

- 2 乾燥した清潔な布で乾かします。
- 3 吸盤を取り付けます (車両への dēzlCam デバイスの取り付けと電源の供給, 1 ページ)。

デバイスで衛星信号を受信できない

- GPS シミュレーターがオフになっていることを確認します (ナビゲーション設定, 19 ページ)。
- 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離してください。
- 数分間静止したままにします。

デバイスを車両で充電できない

- 車両電源ケーブルのヒューズを点検します (車両電源ケーブルのヒューズを交換する, 22 ページ)。
- 車両のイグニッションがオンになっており、電源コンセントに電気が流れていることを確認します。
- 車内温度が仕様で指定されている充電温度範囲内であることを確認します。
- 車両の電源コンセントのヒューズが切れていないことを確認します。

充電しても電池の電力が長持ちしない

- 画面の輝度を下げます (ディスプレイ設定, 20 ページ)。
- ディスプレイのタイムアウトを短くします (ディスプレイ設定, 20 ページ)。
- 音量を下げます (音量を調整する, 2 ページ)。
- Bluetooth 無線技術を (Bluetooth を無効にする, 20 ページ) 無効にします。
- 使用していないデバイスはスリープモードにします (スリープモードへの移行および終了, 2 ページ)。
- デバイスを高温になる場所に保管しないでください。
- デバイスは直射日光の当たるところに放置しないでください。

使用しているデバイスが、コンピュータのリムーバブルデバイスとして表示されません

大半の Windows コンピュータでは、デバイスは Media Transfer Protocol (MTP) を使用して接続されます。MTP モードでは、デバイスはリムーバブルドライブではなく、ポータブルデバイスとして表示されます。MTP モードは、Windows 7、Windows Vista®、および Windows XP Service Pack 3 (Windows Media Player 10 付属) でサポートされています。

使用しているデバイスが、コンピュータのポータブルデバイスとして表示されません

Mac コンピュータや、一部の Windows コンピュータでは、デバイスは USB 大容量記憶装置モードを使用して接続されます。USB 大容量記憶装置モードでは、このデバイスは、ポータブルデバイスではなく、リムーバブルドライブまたはボリュームとして表示されます。Windows のうち、Windows XP Service Pack 3 より前のバージョンでは、USB 大容量記憶装置モードを使用します。

使用しているデバイスは、コンピュータのポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、ボリュームのいずれとしても表示されません

- 1 コンピュータから USB ケーブルを取り外します。
- 2 デバイスの電源をオフにします。
- 3 USB ケーブルをコンピュータの USB ポートとデバイスに接続します。
ヒント：デバイスは、USB ハブではなく、コンピューターの USB ポートに直接接続する必要があります。

デバイスが自動的にオンになり、MTP モード、または USB 大容量記憶装置モードになります。コンピュータとデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。

電話がデバイスに接続されません

- **設定 > Bluetooth** の順に選択します。
Bluetooth フィールドは有効に設定する必要があります。
- 電話で Bluetooth 無線技術を有効にし、デバイスから 10m (33 フィート) 以内の範囲に電話を持ってきます。
- 詳細については、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。

索引

記号

出荷 15
サービス時間 15
追加 15
2D 地図表示 11
3D 地図表示 11

A

アイコン, ステータスバー 1
アクセサリ 22
アクティブ車線案内 4

B

場所 7
バッテリー
充電 1, 22, 23
問題 23
最大化 23

ビデオ

記録 3
録画 2
再生 3
削除 3
Bluetooth 技術 13, 16, 23
デバイスの取り外し 16
設定 20
無効 20
有効にする 15

C

地図 5, 9, 10, 19
データフィールド 4, 10, 11
記号 4
購入 22
更新 21
ルートを表示する 4
詳細度 19
テーマ 19
トラック 10
ツール 9, 10
レイヤー 11
地図表示
2D 11
3D 11

D

ダッシュカメラ
ビデオの録画 3
ビデオ録画 2
ビデオ再生 3
位置合わせ 2
メモリーカード 1
オーディオの録音 3
設定 19
写真 2, 3
デバイスのクリーニング 20
デバイスのお手入れ 20
デバイスの取り付け
マウントから取り外す 22
自動車 1
吸盤 1
吸着カップ 22
デバイスを充電する 1, 22, 23
デバイスを登録する 21
電源ケーブル 22
ヒューズ交換 22
車両 1
電源キー 2
電話, ペアリング 16, 23
電話をかける 16
自宅 16
無効化 17
かける 16
ダイヤルする 16
電話に回答する 16
履歴 16
連絡先 16
ディスプレイ設定 20

道路状況, 天気 19

E

ecoChallenge 18
ecoChallenge スコア 18
リセットする 18
ecoRoute 17, 18
ecoChallenge スコア 18
燃費を校正する 18
車両プロファイル 18
燃費レポート 18
衛星信号
捕捉 1
表示 22
エクスポート
管轄機関の概要 14
トリップレポート 14
運転者ジャーナル 15
EULA 20

F

ファイル, 転送する 22
Foursquare 8

G

Garmin Express 21
デバイスを登録する 21
ソフトウェアを更新する 21
言語
キーボード 20
音声 20
Bluetooth 技術, ペアリングしたデバイスの削除 17

H

ハンズフリー通話 15
ヘッドセット, ペアリング 16
編集, 保存されたトリップ 5
方向転換地点 4
保存した位置 5
カテゴリ 9
削除 9
編集 9
保存する, 現在地 9
ヒューズ, 変更 22

I

イベント検出 2
位置 8, 19
場所 7
保存する 9
シミュレート 19
検索対象 7, 8
現在 8, 9
最近検索した 8
自宅を登録する 9
電話をかける 16
位置を検索する. 7 関連項目 位置
住所 8
交差点 8
都市 8
カテゴリ 7
座標 8
ID 番号 20
International Fuel Tax Agreement (IFTA) 13
エクスポートされた概要およびレポート 14
管轄機関の概要 14
燃費データ 13, 14
トリップレポート 14

J

ジャンル別施設 (POI) 7, 8
場所 7
トラッキング 8
自動音量, 有効にする 2
GPS 1, 22
時間設定 20
ホーム, 位置を編集する 4, 9
住所, 検索する 8

K

回避 6
道路機能 6
道路 6
料金 6
エリア 6
削除 7
無効 6
カメラ
ダッシュカメラ 1-3, 19
スピード 11
管轄機関の概要 14
ケーブル, 電源 22
警告アイコン 10, 11
検索バー 7
キーボード
言語 20
レアウト 20
緊急時サービス 8
近接ポイントアラート, 設定 20
規制, サービス時間 14
この先
カスタマイズ 10
サービスを検索する 10
コンピュータ, 接続 22, 23
故障関係のディレクトリ 8
故障 13
交差点, 検索する 8
更新
地図 21
ソフトウェア 21
クイックサーチ 7
吸着カップ 22

M

マウント, 削除 22
マウントを取り外す 22
メモリーカード 21
メモリーカード
挿入 1
挿入する 21
microSD カード 1, 21
目的地. 参照項目 位置
myGarmin, メッセージ 18
myTrends, ルート 6
ミュート操作, オーディオ 13

N

ナビゲーション 4, 7
ルートをプレビューする 5
設定 19
直行ルート 7
燃費. 18 関連項目 ecoRoute
燃費データ 13, 14
燃費を校正する 18
燃料

ガソリンスタンド 8
価格 18

O

音量, 調節 2
音声制御 13
ヒント 13
オンスクリーンボタン 2
オーディオ, 近接ポイント 20

P

ペアリング 13, 16
電話 16, 23
ヘッドセット 16
ペアリングしたデバイスの削除 17
取り外し 16
プロファイル
トラック 3
有効化 3

R

Garmin ライブサービス 17
サービスに申し込む 17
レポート
トリップ 14

- 燃費 18
- リセットする
 - デバイス 21
 - トリップデータ 10
- ルート 3
 - 地図上に表示する 4
 - 開始 4, 5
 - 計算 5
 - 計算モード 5, 19
 - 形成する 4
 - 候補 6
 - myTrends 6
 - ポイントを追加する 4, 5
 - プレビュー 5
 - 停止する 5
- ルートを形成する 4
- 料金, 回避する 6
- S**
- サービス時間 13-15
 - 出荷 15
 - ドライバー 14
 - 業務ステータス 14
- サービス履歴
 - 編集 15
 - カテゴリー 15
 - 記録 15
 - 削除 15
- サービスを検索する, この先 10
- 削除
 - ペアリングした Bluetooth デバイス 17
 - サービスカテゴリー 15
 - サービスの記録 15
 - トリップ 5
- 制限事項, 車両 3
- 製品登録 21
- 設定 19, 20
- 車両プロファイル 18
 - トラック 3
- 車両電源ケーブル 1
- 写真
 - 表示 3
 - 削除 3
- 診断 13
- 仕様 21
- Smartphone Link 17
 - Garmin ライブサービス 17
 - 接続 17
 - 通話の無効化 17
- ソフトウェア
 - バージョン 20
 - 更新 21
- 走行履歴 20
- スクリーンショット 20
- スピードカメラ, サブスクリプション 11
- スリープモード 2
- 初期セットアップ 13
- T**
- タッチスクリーンのクリーニング 20
- トラブルシューティング 22, 23
- トラフィック 10-12, 20
 - 代替ルート 6
 - カメラ 17
 - レシーバー 11
 - サブスクリプションの追加 12
 - サブスクリプションの有効化 12
 - 事故 10
 - 受信機 12
 - 地図 10
 - 遅延の検索 10
- トラック
 - 地図 10
 - ジャンル別施設 8
 - プロファイル 3
 - トレーラー 3
 - ドライバー 14
 - 出荷 15
- 取り外し, Bluetooth デバイス 16
- トリップ情報 10
 - 表示 10
 - リセットする 10
- トリッププランナー 5, 6
 - シェイピングポイント 5
 - トリップを編集する 5
- 盗難, 回避する 21
- ツール, 地図 9, 10
- 通話 16
 - ダイヤルする 16
 - 電話に 응답する 16
 - ミュート操作 16
 - 音声ダイヤル 16
 - 応答する 16
- 通知 13
- U**
- 迂回路 5
- 運転者ジャーナル 14, 15
- USB, 取り外し 22
- W**
- ワイヤレスヘッドセット 15
- Y**
- ユニット ID 20
- さ**
- サブスクリプション, Garmin ライブサービス 17
- し**
- ジオキャッシング 8
- シミュレートされた場所 19
- ショートカット
 - 削除 9
 - 追加 9
- た**
- ダイヤルする 16
- て**
- デバイスをカスタマイズする 19
- と**
- ドライバー
 - トラック 14
 - 追加 14
- トラフィックカメラ 17
 - 表示 17
- へ**
- ヘルプ. 17 関連項目 製品のサポート
- る**
- ルート情報 4
- わ**
- ワイヤレスハンドセット 16

